

令和7年度使用
中学校用教科用図書
選定資料

令和6年5月

山口県教育委員会

種目名 国語

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 国語 002-72 002-82 002-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新編 新しい国語 1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「未来を考えるための9つのテーマ」を示し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの学習でテーマについて認識を深めながら、未来について考えることができるように工夫されている。各学年末の教材「未来への扉」の中に、全ての教材と各テーマとの関連が一覧で示されている。 ○ 本編・資料編の2部構成になっており、本編には学習指導要領の内容が適切に配置されている。資料編には「読むこと」の補助教材と、学習の参考となる資料が掲載されている。また、3学期制にも2学期制にも対応できるように、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域がバランスよく配置されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「広がる言葉」は、作品中の表現と関連させることを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるように工夫されている。また、ゲーム仕立ての「文法の窓」やストーリー仕立ての「日本語探検」など楽しく学べるコーナーが設けられている。 ○ 「言葉の力」の欄で「読むこと」と「話すこと・聞くこと」「書くこと」との領域間の関連が図られており、資質・能力が定着するように工夫されている。さらに、「言葉の力」は、3年間を通して系統的・段階的に育成されるように配置されている。 ○ 問題解決的な言語活動が設けられ、生徒同士が互いの考えを生かして結論をまとめるなど、協働して学びを深められるように工夫されている。教材冒頭に、生徒の視点で書かれた問いかけがあり、何に注目して学習すればよいか分かるようになっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の1年間の「言葉の力」の一覧では、生徒が1年間の学習を見通せるようになっており、巻末の中学校3年間の「言葉の力」の一覧では、生徒が3年間の学習を見通したり、既習事項を振り返ったりすることができるように工夫されている。 ○ 再生紙・植物油インクが用いられており、地球環境に配慮されている。また、生徒への身体的負担への配慮から軽量化を図るため、ページ数が改訂前よりも削減されている。 ○ 掲載作品は、著者の社会的属性や年齢、性別等に偏りがないように選定されており、生徒が教科書を通して多様な考え方に触れることができるように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の前半の教材は、各領域にわたって小学校高学年の復習にもなるように配慮されている。また、第3学年では、高等学校への橋渡しになるように、社会性の高い題材や言語活動が設定されている。 ○ 他教科等の学習内容と関連する題材が積極的に取り上げられ、関連があることを示す「教科関連マーク」が付けられている。また、豊かな情操を育む文学作品や共感する心を養うドキュメンタリーなどが豊富であり、道徳科との関連が図られている。 ○ 二次元コードから、個別最適な学びのための様々なデジタルコンテンツにアクセスできる。「家庭学習マーク」が付いているコンテンツは、家庭学習でも活用できるように工夫されている。 | | |

種目名 国語

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 15 三省堂 | 教科書の記号・番号 | 国語 015-72 015-82 015-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 現代の国語 1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「個別最適な学びと協働的な学びの実現」が方針の第一に掲げである。主体的・対話的で深い学びの視点から、「学び方を習得し、見通しをもち自覚的に活用すること、他者と関わる力を育て、ものの見方を広げ考えを深めること、考えの形成を重視し、豊かな言語文化に触れること」といった方針が示されている。 ○ 「読むこと」の学習を踏まえ、関連付けた「書くこと」の教材を随所に配置して、効果的に学習できるように工夫されている。他教科や社会生活に活用できるような話合いの仕方を取り上げ、「話し合いのこつ」を明示しながら、3年間を通して系統的に学ぶことができるようになっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を的確に捉えて考えを深めるための9種類の「思考の方法」、教材の言葉をきっかけに多様な観点から語彙を豊かにする「語彙を豊かに」を、各教材に設定するなど、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるように工夫されている。 ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材に示した「学習のポイント」や、読みの方略を学ぶ「読み方を学ぼう」「思考の方法」など、「学び方」を学ぶための工夫を凝らし、汎用的な力を身に付けられるように工夫されている。 ○ 確かな目的と見通しをもち、「学び方」を意識して学習を進められるように構成されている。協働的な言語活動により、仲間とともに学びの成果を実感することで、意欲的に取り組めるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭、巻末に3年間で学ぶ「『思考の方法』一覧」と「『読み方を学ぼう』一覧」が掲載され、どの学年の生徒も全体を確認できるように工夫されている。また、3年間を通して繰り返し活用できるよう、それぞれの教材との関連も示されている。 ○ 薄くて軽く、丈夫で目が疲れにくい白色度の用紙が使用されている。製本はしっかりとしており、開きやすく読みやすい方式が用いられている。 ○ 見開きによる情報のまとまりを重視し、まとまりを線で囲んだり太字にしたり、重要な情報を大きく示したりすることで、多くの生徒が学びやすいように工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校から高等学校までの系統性に配慮し、中学校で求められる内容が精選されている。また、第1学年の最初は新入生の心理に寄り添う教材や小学校での学習と接続する教材、第3学年では高等学校への橋渡しとなるテーマの教材が配置されている。 ○ 他教科や日常生活と関連のある幅広い題材を取り上げて認識を深めるとともに、「読み方を学ぼう」「思考の方法」「話し合いのこつ」などで習得した言葉の力を、他教科の学習や社会生活における言語活動において活用できるように工夫されている。 ○ 二次元コードにより、解説動画や朗読音声、デジタルドリル、「読みの方略」や補充教材、参考資料等が豊富に提供され、学びを深め個別最適な学びの支援ともなるように工夫されている。 | | |

種目名 国語

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 国語 017-72 017-82 017-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 伝え合う言葉 中学国語1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の冒頭に、指導事項に沿った学習目標や、教材を読み深めていく視点が「学びナビ」で示され、生徒の自覚的な学びを促すように工夫されている。また、多様で今日的な課題を取り上げた教材が設定され、学びが深まるとともに、日常生活や他教科への学習につながるように工夫されている。 ○ 生徒が、目標や「学びナビ」によって学びを見通し、「みちしるべ」や言語活動によって、学びを深め、振り返りによって学びを確かめることができるように工夫されている。また、教材は領域・指導事項の偏りがなく構成され、反復的・螺旋的に学べるよう編集されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 言語教材では、単元内に「言葉の小窓」「文法の小窓」を設け、日常の言語生活から言葉の存在や機能に気付くように工夫されている。また、「伝統的な言語文化」の教材は、我が国の言語文化を重視するとともに、昔話など生徒の学習経験との関連が図られるように工夫されている。 ○ 教材の始めに設けられた「学びナビ」によって、その教材で働かせる思考力を解説と図で示し、明確化できるように工夫されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、学習活動と指導事項とのつながりを明確に示すように工夫されている。 ○ 「持続可能な未来を創るために」と題して、生徒が、社会や日常生活の中から課題を見出し、解決のために自ら問いをもち、考えを深めることができる教材が配置されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次では、各教材に領域・単元のマークが付けられ、生徒が学習の見通しをもてるように工夫されている。巻頭には情操や道徳心を培う詩が掲載され、巻末には言語についての実践的な知識や教養を身に付けるための資料が掲載されている。 ○ 表紙は、堅牢で特殊コーティングが施され、印刷は植物油インクを使用し環境へ配慮するとともに、第1学年と第2、3学年とで字詰・行数を変えるなど、発達の段階への配慮がされている。 ○ 文字と、イラストや図表、模様などとの空きや重なり注意到意したり、マークやデザインの仕様を統一したりするなど、教材の重点に集中でき、内容が把握しやすいように工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」「学びナビ」「ヒント」などを示すことで他学年との系統性を重視するとともに、第1学年冒頭単元では、小学校の学習を踏まえた教材が掲載されている。また、高等学校の学習内容を見据えた論理的思考力の育成や、語彙に関する学習では高等学校での表現力の育成につながるように工夫されている。 ○ 教材の末尾に「学びを生かす」のコーナーを設け、他分野に関する教材や、自然や環境、最新の科学についての話題を取り上げるとともに、生命・平和・友情・人権・福祉・公共・心の発達など道徳科と関連して学ぶことができるように工夫されている。 ○ 教材内容に応じて「まなびリンク」を設け、生徒が自ら学びを進められるように工夫されている。 | | |

種目名 国語

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 38 光村 | 教科書の記号・番号 | 国語 038-72 038-82 038-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 国語1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ゆるぎない言葉の力を育む」「言葉と生きる主体を育む」「新しい時代の学びを提案する」を基本方針として、豊かな人生の基盤となる語彙力や言語感覚、情報活用能力や論理的思考力を育むために、教科等横断的な関連が図られているとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容構成が工夫されている。 ○ 3学期制、2学期制のどちらにも対応できるように、教材数・領域のバランスが工夫されている。また、発達の段階や学習の持続性を考慮し、教材を段階的かつ系統的に配列することで、思考・判断・表現を繰り返しながら、着実に資質・能力が身に付けられるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本編と資料との間に、自分の思考や感情を的確に言語化するための新教材「語彙ブック」が設けられ、生徒が学習や生活の中で必要に応じて使用語彙を増し、語感を磨いていけるように工夫されている。 ○ 主体的に課題解決を図る過程で、資質・能力が習得できるように配慮されている。また、デジタルコンテンツ「学びの地図」では、これまでに習得した資質・能力を検索し、次の学習や社会生活における課題解決に役立てられるように工夫されている。 ○ 習得した資質・能力を次の学習へ生かせるよう、各教材の最後の「振り返る」で、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に基づいて生徒が自己評価を行い、自分で学びを価値付けられるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、1年間の学習と身に付ける資質・能力を俯瞰できる「学習の見通しをもとう」を設け、生徒が学習の見通しをもつとともに、既習事項を確かめて次の学習へ生かすことができるように工夫されている。 ○ 表紙は、風合いのある用紙を用いており、現代的で落ち着いたデザインとなっている。 ○ 本文には、教科書のためにデザインした「光村明朝体」を、漢字の読み仮名や読書案内などの小さな文字には、UDフォントを用いている。色覚の特性に配慮し、図表は色に頼ることなく線の種類や濃淡でも判別できるようになっている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校への円滑な接続が図られるよう、第1学年の冒頭に、小学校での既習事項を確認できる「言葉に出会うために」が設けられている。また、第3学年では、高等学校で出会うような作家の文章や古典が紹介されている。 ○ 説明的文章においては、社会科や理科、美術科と関連した題材、「項目を立てて書こう」では、学校行事の案内文などが扱われており、他教科や学校生活と関連した教科等横断的な学びが積極的に促されている。 ○ 二次元コードからCBT形式（コンピューターを使用した試験）の問題に取り組み、自己採点ができる「国語の力試し」が設けられており、学習の状況を生徒が確認できるようになっている。 | | |

種目名 書写

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 書写 002-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新編 新しい書写 一・二・三年 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い知識と教養を身に付けるとともに、自らの文字を正しく整ったものにしていく課題解決の過程で、自主・自律の精神が養えることを意図して編集されている。また、文字コラムを中心に、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うことにも配慮されている。 ○ 書写学習の基礎・基本的な事項を確実に習得できるように、発達の段階に応じて系統的に単元を配列し、螺旋的に学習できるように工夫されている。特に、単元ごとに「書写のかぎ」を置き、学習内容を端的に示した単元名や目標を明示することで、学習のねらいが明確化・焦点化されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 書写で学ぶ知識及び技能を「書写のかぎ」として系統的に整理し、各単元に配置している。また、小学校の学習事項を「これまで学んできたこと」で確認し、中学校での学習基盤を確かなものにするように配慮されている。 ○ 「見つけよう」や「生かそう」などで、文字から「書写のかぎ」を見付け出したり、他の文字に応用したりする中で、思考力、判断力、表現力等を働かせることができるようにしている。その力を国語や他の学習、生活の中でも活用するように促している。 ○ 「文字を『書く』ってなんだろう」で書写学習の意義や何ができるようになるかを知ること、見通しをもち、自分の文字をよりよくしていこうとする態度を育成するように工夫されている。図版を多く取り入れ、意欲的に取り組む工夫がなされている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末資料として「書写活用ブック」が設けられており、様々な書式の具体例を挙げて特徴や書き方が解説されている。また、手紙や新聞、ポスターなどの書き方や、常用漢字表、人名用漢字表など、生活の中で役立つ内容が掲載されている。 ○ B5変型判の紙面は、1ページの縦横比が半紙と同比率であり、半紙と文字のバランス、余白などを意識して書けるように工夫されている。 ○ 文意が理解しやすいように、原則として文節で改行している。また、左利きの生徒を考慮して、教材文字を上、書き込み欄を下に配置している。UDフォントが採用されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「これまで学んできたこと」が設けられており、小学校書写との円滑な接続が図られている。また、高等学校との接続として、書道で扱う古典作品の美しい写真を掲載し、書道を学ぶ高校生の活動を紹介して、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。 ○ 他教科の学習と連動している単元・教材には「教科関連マーク」を付けて意識付けが図られている。また、「生活に広げよう」において、生活に活用できる書写力の育成が促されている。さらに他教科で扱われる言語活動も教材化されている。 ○ 各単元に二次元コードを付し、学習に役立つデジタルコンテンツが提供されている。コンテンツには、毛筆教材文字の運筆動画などがあり、それを視聴しながら学習することができる。 | | |

種目名 書写

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 15 三省堂 | 教科書の記号・番号 | 書写 015-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 現代の書写一・二・三 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の見通しをもち、自覚的に学習を進め、次の学びへの意欲が高まるように構成されている。毛筆で学習する教材は見開きページで構成し、全ての教材に学習目標と振り返りが示されている。また、各教材の冒頭に「書き方を学ぼう」を設置し、当該教材で学習すべき書き方のポイントが分かるように示されている。 ○ 書写の基礎・基本的な知識や技能を身に付けると同時に、興味をもつきっかけとなるような教材が設定されている。小学校書写との接続が図られるよう、「学習のはじめに」や楷書の教材で、小学校での学習内容が整理して示されている。また、各学年において、国語科の学習内容との関連が図られている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「書いて身につけよう」で日常的に使う言葉を練習したり、「身のまわりの文字」などで文字文化への認識を深めたりすることによって、知識を蓄え、文字文化の担い手として自らを豊かにするきっかけとなるような教材が設けられている。 ○ 現代まで受け継がれてきた文字の歴史や文化などが取り上げられている。身の回りの文字文化に触れることで、文字の役割や、文字を手書きすることの意義を認識することがねらいとされている。 ○ 学習した内容を、多様な場面で自覚的に活用する力を付けることが重視されている。毛筆を学習した後に、硬筆で書いて練習する「書いて身につけよう」を設置し、繰り返し書いて習得し、普段の自分の書字に生かすことができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を支援する役割をもったキャラクターを用いることで、学習者が知識・技能の理解や習得をスムーズに行えるように工夫されている。 ○ 判型はB5判で各教材を見開き2ページに構成してあり、学習内容がコンパクトにまとめられている。3年間の教材が1冊にまとめられており、随時振り返ることができる。 ○ 識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手掛かりを設けている。また、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確にされており、写真やキャラクターの男女のバランスにも配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の学習内容と円滑に接続を図ることができるよう、小学校での学習内容を明示している。また、各学年において、国語科の学習内容との関連も図られている。さらに、「篆刻」や、優れた筆跡を紹介し、書道への関心が深まるよう工夫されている。 ○ 国語科で学習する教材文や、レポート・手紙・文集など、各学年において国語科の学習内容を取り上げて、関連を図ることができるように工夫されている。また、数学科や英語科等との関連教材を設け、教科等横断的な学習が促されている。 ○ 各教材の二次元コードの参照先サイトにおいて、学習の役に立つ解説動画や書字動画、補充教材、参考資料等の豊富なデジタルコンテンツが提供されている。 | | |

種目名 書写

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 書写 017-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学書写 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養を身に付けられるように配慮されている。自ら考え、伝え合い、生きて働く力の育成を図るために、「『書く力』が身につく」「『学び方』がわかる」「『活用する力』が育つ」の三つを柱として編集されている。 ○ 書写学習の基礎・基本が確実に身に付き、習得した書写力を、各教科や日常生活にも活用できるように教材構成が工夫されている。また、学年間や校種間の円滑な接続が行えるように、小学校や高等学校の学習内容にも配慮し、復習や発展学習の教材が配列されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 文字の書き方の秩序性を理解するために、姿勢、用具の持ち方、筆使い、字形の整え方などについて、写真や図版を活用して丁寧に解説されている。また、毛筆では、筆使いが分かりやすいように、穂先の通り道を朱墨で明快に示すよう工夫されている。 ○ 学習過程に「考える」場面を設け、随所に「気づきを書く活動」や「話し合い活動」が設定されている。また、レポートの書き方や情報整理の仕方など、書くことで思考を整理する方法が紹介され、各教科の言語活動と連動するように教材化されている。 ○ 「どのように学ぶか」の見通しがもちやすいよう学習過程が明確に示され、紙面と動画の両方で確認ができるようになっている。また、課題選択教材や補充教材集等が随所に掲載され、課題解決に向けて主体的に取り組めるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 書写の学習手順を理解してから学習が進められるように、巻頭に「学習の進め方」が収録されている。また、巻末には「書式の教室」「漢字一覧表」「補充教材」などが掲載され、各学年共通で活用することができる。 ○ 1単位時間が、見開き2ページを基本としたレイアウトになっており、AB判の判型を使用して半紙形を維持した紙面とすることで、教材文字に集中して学習できるよう工夫にされている。 ○ 多くの生徒にとって学びやすいように、配色やレイアウトが工夫されている。図版やイラスト、資料などの表現には、社会の多様性を踏まえた人権上の配慮がなされている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校で学習した既習事項について、第1学年の最初の教材で復習できるように設定されている。また、高等学校で学習する内容への興味・関心が高まるように、第2・3学年では発展的な学習が設定されている。 ○ 「学習を生かして書く」「書式の教室」のノートの取り方や、レポート、案内状、エメールの書き方などを扱った教材では、社会科、理科、英語科などの幅広い教科の言語活動と連動させ、習得した技能を活用することができるよう工夫されている。 ○ 二次元コードと連動した「まなびリンク」を活用して動画や資料をWebページで見ることができる。豊富なコンテンツで、協働学習や家庭学習にも活用できるよう工夫されている。 | | |

種目名 書写

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 38 光村 | 教科書の記号・番号 | 書写 038-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学書写 一・二・三年 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 文字を書くことと、デジタル機器で入力すること等双方のよさを生かしつつ、次世代に文字文化をつないでいくために、生徒自身が書く楽しさや達成感を感じられるように編集されている。また、書写で培った力を他教科や社会生活でも生かせるように工夫されている。 ○ 第1学年から第3学年までの内容が一冊にまとめてあり、習得と活用を繰り返しながら、知識・技能が確実に定着するように系統的・段階的に配列されている。また、生徒が見通しをもって学習を進めることができるように、学習の流れが分かる構成になっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全教材に「目標」「振り返ろう」が明示されており、知識・技能の定着が確かめられる。「学びのカギ」には、基礎・基本、原理・原則が明示されている。また、「書写ブック」には、毛筆課題と同じ学習要素をもつ硬筆課題が豊富に掲載されている。 ○ 教材の冒頭に、文字の特徴や書き方のポイントについて考えたり話し合ったりする活動を位置付けることで、文字の観察や相互比較を通して、生徒が主体的に文字の書き方への理解を深め、思考力、判断力、表現力等を育成できるようになっている。 ○ 見通しをもって、主体的に学習に取り組めるように、「原理・原則の発見」「書いて原理・原則を確かめる」「日常の文字に生かす・振り返り」という順で構成されている。文字や文字文化への理解・関心を高める教材も随所に設けられている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「書写スタートブック」を設け、書写の基礎・基本が示されている。巻末には、「書き初めマスターブック」が設定され、書き初めの由来や文化を紹介することで、伝統の継承と文化の創造に貢献するための素地が培えるように配慮されている。 ○ 別冊「書写ブック」に硬筆課題を豊富に掲載することで、硬筆と毛筆の関連を図りながら、毛筆の学習が硬筆に生かされるようになっている。 ○ ユニバーサルデザインの観点から、学習に集中できるよう、大切なことが端的に分かる紙面構成にしている。また、色覚の特性に配慮し、識別しやすい配色になっている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校からの円滑な接続を図るとともに、基礎・基本を実生活の中で活用・定着できるようになっている。また、高等学校芸術科書道への関連を意識して、「文字の歴史を探る」や「なりきり、書聖・王羲之」が掲載されている。 ○ 古典文学や短歌・俳句を書いて味わう教材や、「防災フェスタを開こう」等、多くの作例が掲載されることで、書写で習得した知識・技能を、国語や他教科、日常生活に役立てる方法をイメージできるように工夫されている。 ○ 二次元コードにより、運筆や用具の準備・片付け等の動画やアニメーションを提示することで、正しい姿勢や持ち方が定着するように配慮されている。 | | |

種目名 社会（地理的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 地理 002-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 2 | | |
| | 書名 | 新編 新しい社会 地理 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 持続可能な社会の実現に向けて「これからの社会を生き抜く力」の育成をめざしている。また、「学習の流れを可視化し、課題を解決する力を育てること」「自らの考えを整理し、表現する方法を身に付けること」「世界が広がるデジタルコンテンツで学びをアップデートすること」を基本方針として編集されている。 ○ 単元を貫く「探究課題」と、単元を振り返る「探究のステップ」が設定されており、深い学びにつなげることができるように構成されている。また、1単位時間の紙面に「導入資料」「チェック＆トライ」など、学習の流れが示されており、全ての生徒が学習に取り組みやすいように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒がつまづきやすい事項は「もっと解説」で補足説明し、知識を確実に定着できるような工夫が見られる。また、「スキル・アップ」では、地図やグラフの読み取り方などの方法が紹介され、基本的な技能を身に付けられるように工夫されている。 ○ 地理学習で大切な視点を「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」の五つで示した「地理を学ぶ5つのミカタ」として、地理的な見方・考え方を働かせた学習ができるような工夫がされている。 ○ 「世界の諸地域」「日本の諸地域」の導入ページでは、概観ページと次の見開きを使って、生徒が主体的に課題をつかめる構成となっている。また、「みんなでチャレンジ」では、学習の様々な場面で対話的な活動を促すように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭では、現代的な諸課題として全編を貫く五つのテーマ「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」に関する題材を取り上げられるなど、主体的に社会に参画する態度を養うための工夫がされている。 ○ AB判を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成となっている。 ○ 特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにされている。また、教科書全体を通してUDフォントを使用し、読み取りやすさを向上させている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部において、小学校の社会科で学習した内容を、用語や地図、写真や動画コンテンツなど、多様な資料で振り返るページを設けており、小学校から中学校の学習へと円滑に接続できるようになっている。 ○ 社会科の三分野や他教科でも扱う学習内容には、分野関連と教科関連を示すリンクマークを付けることで、多面的・多角的で教科を横断した学習ができ、「これからの社会のあるべき姿」を考えることができるような工夫がされている。 ○ 各単元の導入場面で活用できる「導入クリップ」、展開場面で活用できる「D-MOVE」、まとめの場面で活用できる思考ツールなど、様々なデジタルコンテンツが用意されている。 | | |

種目名 社会 (地理的分野)

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 地理 017-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 2 | | |
| | 書名 | 中学社会 地理 地域にまなぶ | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「持続可能な社会を創造する市民の育成」を編集の柱とし、自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちの育成をめざしている。そのために「社会を読み解き、学び合うこと」「市民的教養の基礎・基本を身に付けること」「主権者としてともに生きる力を育むこと」が重視されている。 ○ 章の学習を見通す「章とびら」では、学習の見通しや見方・考え方が提示されている。見開きごとの学習課題、スモールステップ「確認・表現」を設け、主体的な学習を促している。また、視点を変えて学習を捉え直す「特設ページ」を設け、現代的な諸課題を多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を分かりやすく示し、文章や資料の読解を通して基礎・基本がしっかりと身に付く紙面構成になっている。また、「確認！」のコーナーを設け、学習したことを確認・整理できるように工夫されている。 ○ 各ページの「表現」コーナーで、学習事項の定着と活用を図ることができるようになっている。また、「LOOK」「THINK」「TRY」のコーナーを設け、資料を読み取って考察する学習活動が活発になるように工夫されている。 ○ 各節を貫く課題や SDGs に示された目標を視点にして考察するための特設ページ「クロスロード」が設けられている。地球的課題の解決に向け、社会参画の意識を高めるとともに、自ら行動していこうとする態度を育む構成になっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭では、見開きで「地理の学習を始めるにあたって…」と題し、小学校から中学校へのスムーズな接続を意識するために三分野の学習の概略と関係図が掲載されている。 ○ 資料を大きく掲載できる幅広の AB 判が採用されている。また、大きく広げて見ることのできる折り込み資料が設けられている。 ○ 性差や障害の有無などに関わらず、多様な生徒が互いに協力し合いながら学習に取り組む様子をイラストで描写されている。色覚の特性に配慮し、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく配色と、紙面でもデジタル画面でも見やすく読みやすい UD フォントが使用されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に地理・歴史・公民の三分野のつながりを図で示すとともに、「関連」のコーナーを設け、連携が図られている。また、小学校での学習を振り返ることができるように「地理にアプローチ」が設けられ、中学校の学習にスムーズに移行できるように工夫されている。 ○ 世界各地の先住民族、在住外国人などの人権に関わる諸課題とその克服に向けた取組について扱い、人権尊重・多文化共生に向けた意識を高められるような人権教育との関連が図られている。 ○ 「まなびリンク」の二次元コードを活用することにより、学習に役立つ各種のコンテンツにアクセスし、様々な情報を見ることができるよう工夫されている。 | | |

種目名 社会（地理的分野）

| | 発行者の番号・略称 | 116 日文 | 教科書の記号・番号 | 地理 116-72 |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| | 使用学年 | 1 ~ 2 | | |
| | 書名 | 中学社会 地理的分野 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒を「新しい時代を担う主権者」へと育てるために、地理的な見方・考え方を働かせながら世界や日本を多面的・多角的に捉える学習活動を通して、めまぐるしく変化する混沌とした現代社会を生き抜く公民としての資質・能力の基礎を育成することをめざして編集されている。 ○ 「どのように学ぶのか」を明確にするために、生徒自らが単元を貫く「編・章・節の問い」を立て、単元の学習の見通しをもって各単位時間の「学習課題」に取り組み、「まとめとふり返り」ページで「編・章・節の問い」を改めて考えるという単元構成になっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「何を学ぶのか」を「学習課題」で示し、それと対応した「確認・表現」コーナーで、本文ページの学習を確かめるための問いが設けられている。また、社会的事象について調べ、まとめる技能を育てるために「スキルUP」が設けられている。 ○ 巻頭で「地理的な見方・考え方」についてイラストで視覚的に解説し、学習を進めていく手だてを身に付けられるようになっている。また、生徒同士の話し合いなど対話的な活動が効果的に取り入れられるものには「学び合い」マークが付けられている。 ○ 持続可能な社会について考えることができる教材が随所に掲載され、よりよい未来の創造に関わる意欲が高まるように工夫されている。また、地図やグラフ、身近に考えられる事例を掲載し、地理を学ぶ楽しさを感じられるようになっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で、持続可能な開発目標、カーボンニュートラル、Society5.0について詳しく触れた上で、教科書の本文やコラム等で取り扱われている。 ○ AB判を採用し、写真等の図版を大きく示して、興味・関心を高めやすくし、左右のスペースにグラフや各種資料を掲載して本文内容を補完するなど工夫されている。 ○ 視認性の高いUDフォントが使用されるとともに、ルビには判読しやすいゴシック体を使用されている。また、グラフ・地図等の図版、色覚の特性に配慮し、カラーユニバーサルデザインに対応している。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各編・章の導入ページ「学習のはじめに」や、本文ページの脚注「連携コーナー」が設けられ、小学校社会科の既習事項を再確認し、それを踏まえて学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 自然愛護や伝統・文化をテーマに据えた「持続可能な地域をめざして」「地理+α」などの特設ページやコーナーが設置され、道徳科との関連が図られている。 ○ 紙面上の二次元コードからWebページにアクセスして利用できる「デジタルコンテンツ」として、動画や確認小テスト、ポートフォリオなどが用意されており、個別最適な学びに対応できるようになっている。 | | |

種目名 社会（地理的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| | 発行者の番号・略称 | 46 帝国 | 教科書の記号・番号 | 地理 046-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 2 | | |
| 観点 | 書名 | 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 持続可能な社会の形成に参画する主権者となり、予測困難な時代を生き抜く力を育むために、地域の特色を着実に理解できる地誌を展開することを通して、異文化理解や国土理解、解決への道のりを主体的に考える社会参画の意識を高めることをめざして編集されている。 ○ 章・節・各本文ページでは、冒頭に「問い」、末尾に「課題」が示されている。また、それぞれの場面では、協働的に学習することができる活動が設定されている。こうした単元構成と学習方法の工夫により、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図っている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ イラスト地図や写真資料で地域を概観する活動を通して、生徒の興味・関心を高め、「確認しよう」や「説明しよう」で、知識と理解が深まるように工夫されている。また、「地図帳活用」等で、実践的なスキルが習得できるように配慮されている。 ○ 地理的な見方・考え方を働かせられる豊富な資料が掲載され、変化や関連性を捉えられるようになっている。「アクティブ地理」では、地域に見られる課題や対話を中心とした学習活動が設定されており、知識・技能の活用を図っている。 ○ 地域的・地球的課題の解決に取り組む視点を養うために、「未来に向けて」を設け、具体的な取組を確認できるようにしている。また、持続可能な社会の実現に向けた探究活動に取り組むことができるように「地域のあり方」が設定されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で「教科書を活用した学び方」や「地理的分野の学習の全体像」を設けて、教科書の基本的な流れ等を示すことで、生徒の自主的な学習活動を促すように配慮されている。また、「考えを整理する方法」で、学習に有用な思考ツールが紹介されている。 ○ 幅広の AB 判を採用し、図版に背景色や囲み線を付けるなどして図版と本文を区別しやすいように配慮されている。 ○ 文字は読みやすい UD フォントが採用され、重要語句を示すゴシック体の太さやルビの見やすさにも工夫がなされている。配色は色覚の特性に配慮した色使いにするとともに、色以外からも情報を読み取れるようになっている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校での学習や他分野と関連のある題材に「小」「歴」「公」のアイコンを示し、既習事項を踏まえて学びを深められるように配慮されている。 ○ 他教科との関連のある題材に「他教科の関連」を示し、物事を多面的・多角的に捉えるとともに、教科等横断的に学びを進めることができるように工夫されている。 ○ 学習内容の定着や生徒の調べ学習を支援するデジタルコンテンツが多数用意され、生徒の個別最適な学びの実現に向けて工夫されている。また、教科書の内容とリンクした「見通しスライド」「図解アニメーション」「学習を振り返ろう」などのワークシートで、学習内容が定着するように工夫されている。 | | |

種目名 社会（歴史的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 歴史 002-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新編 新しい社会 歴史 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「今と向き合い、持続可能な社会の実現に向けて『これからの社会を生き抜く力』」を育むことを基本方針に掲げて編集されている。現代的な諸課題を自分事として捉え、対話を通して深い学びを実現するように編集されている。 ○ 導入で単元を貫く問いである「探究課題」の設定、展開で「探究課題」の解決を補助する問いである「探究のステップ」、1 単位時間の授業の「学習課題」「チェック&トライ」、まとめて「探究課題の解決」を設けた単元の構成となっており、課題解決的な学習のプロセスを可視化することで、全ての生徒にとって学習に取り組みやすいように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 抽象的な用語を解説する「用語解説」を巻末に設け、基礎・基本を確実に理解できるようになっている。基礎的な知識・技能を系統的に習得・活用させる「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能が確実に定着できるように工夫されている。 ○ 各見開きには「チェック&トライ」を設け、思考力、判断力、表現力等が高められるようになっている。単元末には「まとめの活動」を設け、「ウェビング」「くらげチャート」等の思考ツールを活用して思考を整理できるように工夫されている。 ○ 単元の導入では、個人活動とグループ活動の相互作用で学びを深める「みんなでチャレンジ」を設け、単元を貫く「探究課題」の設定へ円滑に導き、見通しをもって単元の学習に向かうことができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「歴史に学ぶ 持続可能な社会の実現に向けて」を設け、未来を考えるために歴史を学ぶ必要性があることを意識できるようになっている。また、「この教科書の使い方と学び方」を掲載し、主体的に学習ができるように工夫されている。 ○ AB 判を用いて豊富な資料を掲載し、写真等の鮮明さに留意した見やすい紙面構成となっている。過度な重量にならないように、前回改訂からページ数を抑えている。 ○ 資料掲載部分に背景色を入れて、本文との区別を明確にしたカラーユニバーサルデザインへの対応や UD フォントを採用するなど、誰一人取り残されない学びができるように工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部では小学校の学習内容を振り返るために、用語や写真、二次元コードでつながる「導入クリップ」を用意し、単元の学習をイメージしやすいように工夫されている。各単元末では資料などを読み取るコーナーを設け、高等学校の必修科目「歴史総合」につながる読解力が身に付くように工夫されている。 ○ 他教科でも扱う学習内容に教科関連を示す「リンクマーク」を付している。また、二次元コードから他教科の紙面にアクセスして、教科を横断した学習の確認ができるように工夫されている。 ○ 各見開きや「まとめの活動」の定位置に二次元コードを配置し、導入・展開・まとめの学習に応じたデジタルコンテンツにより、学校と家庭の学びを支えることができるように工夫されている。 | | |

種目名 社会（歴史的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 歴史 017-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学社会 歴史 未来をひらく | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 育てたい生徒像として「持続可能な社会を創造する市民」を掲げ、「社会を読み解き、学び合える教科書」「市民的教養の基礎・基本が身に付く教科書」「主権者として、ともに生きる力を育む教科書」を柱に据え、自ら問い、考え続け、社会を創っていく生徒を育てることを重視している。 ○ 「問い」を軸にして課題解決的に追究していく構成になっている。単元を通して学習を進め、主権者・市民として必要な課題を捉え、見通しを立て、解決していく力の育成が図られるようにするとともに、「歴史的な見方・考え方」を働かせた学習が促されるようになっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「確認!」では、毎時間の振り返りの際に学習内容の確実な定着が図られるような構成がされている。また、章の最後のページには学習のまとめが設定されており、第一段階の「HOP!」で基礎・基本の定着を図っている。 ○ 「表現!」では、学習したことを活用し、自分で考え言葉で表現する場面が設定されている。また、コラム「歴史の窓」では、19のテーマを設け、本文とは異なる視点から歴史を捉え直すことができる内容となっている。 ○ 各章の導入ページでは、見通しをもって学習ができるように、これから学習する時代をイメージできる資料を配置している。その資料を基に、追究のきっかけとなる視点を示した「LOOK!」を設け、人々の暮らしの様子が読み解けるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末には「世界地図の歴史」を掲載し、歴史の歩みの中で世界の形はどのように考えられてきたのかが分かる内容となっている。また、日本が世界からどのように捉えられていたのかも推測できるなど、地図への興味・関心が高まる資料となっている。 ○ 判型は AB 判で、資料の一つひとつが大きく掲載され、視認しやすくなっている。また、装丁にも汚れにくい加工が施されている。 ○ キャラクターのイラストは、性差や障害の有無などにかかわらず、多様な生徒が互いに協力し合いながら学習に取り組む様子が描写されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1章の「歴史ゲームで遊ぼう」は、小学校で学習した歴史上の人物や文化財について振り返る活動となっている。また、高等学校での「歴史総合」に向けて、通史学習の中で日本の歴史の大きな流れと、その背景となる世界の歴史を丁寧に説明している。 ○ 「歴史にアプローチ」では、教科を横断した見方・考え方で、多面的・多角的に歴史の学習を行えるように、国語科との関連で文字資料に注目したり、数学科との関連で数字を読み解いたりするなど、複数の学び方が示されている。 ○ 二次元コードから、「役立つリンク集」「動画」「クイズ」などの各種のコンテンツにアクセスし、生徒が復習や自主学習などで活用できるように工夫されている。 | | |

種目名 社会（歴史的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 46 帝国 | 教科書の記号・番号 | 歴史 046-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「持続可能な社会の形成に参画する主権者となり、予測困難な時代を生き抜く力を育む」ことを基本理念としている。問いを軸にした単元構成の構造化による「主体的・対話的で深い学び」の実現及び資料を基にした議論や考察による社会参画に向けた態度と資質の育成等をめざしている。 ○ 全体的に章を基本単元とした見通しと振り返りがしやすい構成となっている。単元のはじめに「章扉」や「タイムトラベル」を活用することで見通しを立てて主体的に学びを進め、「学習を振り返ろう」の思考ツールや話し合い活動を通して対話的な学びや深い学びが実現できるように構成が工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 単位時間の紙面は、興味・関心を高める導入、学習内容を見通す学習課題、分かりやすい本文記述、学習内容を振り返る「確認しよう」により、知識及び技能を着実に習得できるように構造化されている。 ○ 「タイムトラベル」は異なる時代を比較・考察することにより思考力を高められるように工夫されている。毎時間の「確認しよう」「説明しよう」や各章末の「学習を振り返ろう」において、判断・表現する言語活動を繰り返し行うように工夫されている。 ○ 写真や地図などが見やすく提示され、興味・関心を喚起するように工夫されている。「アクティブ歴史」では、具体的なテーマを設定した対話的な学習を通して、様々な立場を踏まえて合意形成をめざす活動型の学習が設定されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次は章で色を分け、本文の対応ページと一致させている。巻頭に教科書を活用した学び方や歴史的分野の学習の全体像、考えを整理する方法を掲載し、巻末には年表や歴史の舞台を図示することにより全体像を把握できるように工夫されている。 ○ 写真や図版が鮮明に写る再生紙を用い、環境へ配慮したインクを使用している。また、針金を使わずに重量を軽くする PUR 製本を採用している。 ○ 図版に背景色をつけて図版と本文を区別しやすくするユニバーサルデザインを採用している。色覚の特性に配慮した配色や色以外からも情報を読み取れるように工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校での学習や他分野等と関連のある題材に「小・地・公の関連アイコン」を示し、既習事項を踏まえて、物事を多面的・多角的に捉えられるように工夫されている。「章扉」に小学校の内容の年表を設け、円滑な橋渡しができるように工夫されている。 ○ コラム「未来に向けて」において環境や情報、人権などを取り上げ、他分野との接続を考慮している。「小学校・地理・公民・他教科の関連」を示し、教科等横断的な学習が進めやすいように工夫されている。 ○ 二次元コードから、「タイムトラベル」や「思考ツール・白地図」などの多数のコンテンツを利用できるようにしており、個別最適な学びが進められるように工夫されている。 | | |

種目名 社会（歴史的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 81 山川 | 教科書の記号・番号 | 歴史 081-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学歴史 日本と世界 改訂版 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史を学ぶことを通して社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を作る力を養うことができるようになることを、編集の基本方針に掲げている。そのため、因果関係を重視した本文の記述を充実させたり、様々な種類の発問を設けたりすることを重視した編集が行われている。 ○ 各章は、「各時代の帯年表」「本文」「まとめ」というページで構成されており、その時代の日本と世界の大きな流れが理解できるように工夫されている。また、学習内容をより深く理解できるように、「歴史へのアプローチ」「歴史を考えよう」「地域からのアプローチ」が、各章でバランスよく配置されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊富な知識が得られるように、因果関係を重視して、本文を詳しく記述したり、高等学校でも学習する史料を現代語訳で掲載したりしている。また、本文に出てくる内容の難しい用語には「用語解説」を設け、生徒の理解を助けられるように工夫されている。 ○ 各章のまとめのページでは、社会的事象を様々な立場から考察したり、時期や理由、背景や経緯などに着目して表に整理したりする課題を設け、生徒自らが考え、判断・表現する力を身に付けられるように工夫されている。 ○ 各章の扉には、日本と世界の出来事を上下に分けて示す「帯年表」を付し、見通しをもって学習に取り組むことができるように工夫されている。また、主な時代の世界地図を見開きで掲載し、世界との関連で日本の歴史を捉えられるようにしている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭には、日本の世界遺産の写真や分布図が掲載され、伝統と文化についての興味・関心を高める工夫がなされている。巻末には世界地図が掲載され、地図を活用しながら歴史を学べるようになっている。 ○ AB判を利用して図版を大きく、見やすくし、歴史への興味・関心を高めるように工夫されている。また、針金を使用しないPUR製本を採用し、重量を軽くしている。 ○ 地図、グラフなどの資料は、色覚の特性に配慮し、多くの生徒が見やすいようカラーユニバーサルデザインに配慮して作成されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1章の「歴史を大きく変えた人物」の学習では、小学校で学んだ人物を取り上げ、円滑に中学校での学習を始められるよう配慮されている。また、高等学校の教科書の文体に慣れるため、「です」「ます」調ではなく「である」調を用いている。 ○ 「歴史を考えよう」では、美術作品などを取り上げたり、日本国憲法の条文を英文で紹介し、内容を調べるように促したりするなど、他教科との関連を意識した学習内容が見られる。 ○ 二次元コードを設け、博物館や資料館のWebページや動画、資料の拡大画像などを見ることができるようになっている。また、「歴史を考えよう」では、インターネットを活用しての調べ学習を行い、情報活用能力を高められるようになっている。 | | |

種目名 社会（歴史的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| | 発行者の番号・略称 | 116 日文 | 教科書の記号・番号 | 歴史 116-72 |
| | 1 ~ 3 | | | |
| 観点 | 中学社会 歴史的分野 | | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒を新しい時代を担う主権者へと育てるために、めまぐるしく変化する混沌とした現代社会を生き抜く力を付け、「公民としての資質・能力の基礎」を育成することをめざして編集されている。 ○ 各時代の学習では導入ページの「学習のはじめに」で単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができるようにしている。「まとめとふり返り」ページでは、単元を貫く問いに答える活動や時代の特色を捉える学習活動などを設定している。この構成を原始・古代から現代までの学習で一貫させることで、歴史の大きな流れを理解できるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は、1 単位時間の紙面を見開き 2 ページとし、「確認」「表現」コーナーを設け、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着をねらいとした学習活動が提示されている。また、習得した知識及び技能を用いて文章化・言語化できるように工夫されている。 ○ 「トライ」「スキルUP」「資料活用コーナー」「チャレンジ歴史」など、思考力、判断力、表現力等の向上を図る場面を設定し、生徒が自分の言葉で表現できるようにしている。 ○ 第 2～6 編の各章の導入ページの「トライ」では、時代の前後を比較できる資料を提示し、これからの学習の見通しをもてるようにしている。また、「まとめとふり返り」のページでは、振り返る活動を通して単元を貫く問いに答える活動が設けられ、学びに向かう力が育まれるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、コラムや特設ページの目次を設け、よりよい未来のヒントとなる豊富な教材がまとめて紹介されている。巻末には、年表や、歴史上の出来事が起こった場所や史跡を記した地図を掲載している。地図には、出来事が起こった年代も記されており、時間軸を意識しながら地図を見られるように工夫されている。 ○ AB 判が採用され、良質で軽い紙を使用しながらも、十分な強度で裏移り少なくなるように配慮されている。 ○ 教科書本文は、UD フォントを使用して視認性を高めている。図版類は、カラーユニバーサルデザインに対応し、形や模様など、色以外の情報でも識別できるように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第 1 編や各時代の導入の年表において、小学校で学んだ人物等を再確認できる構成になっている。また、中学校第 3 学年で学習する公民的分野との関連を図って、現代社会の諸課題について考える「『歴史との対話』を未来に活かす」が設けられている。 ○ 「先人に学ぶ」では、生活の向上や文化の発展、平和などに取り組んだ先人を紹介しており、道徳科の内容項目と関連が図れるように工夫されている。 ○ 「チャレンジ歴史」では、見開きページの活動に対応したワークシートが利用できる二次元コードが掲載されている。また、当時の報道や記録映像などの動画も、二次元コードから視聴できるようになっている。 | | |

種目名 社会（歴史的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 225 自由社 | 教科書の記号・番号 | 歴史 225-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新しい歴史教科書 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育基本法に規定された教育目標を達成するため、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して考え、「我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚」を涵養することに役立つものをめざして編集されている。 ○ 序章と六つの章で構成され、学習の進め方が把握できるように、1単位時間で扱うページの見出しには通し番号が付けられている。また、各章の冒頭に見通しをもつための図や年表を掲載し、章のまとめとして調べ学習や復習問題、時代の特徴を考えるページや対話とまとめの図のページが設けられている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 1単位時間の最後に「チャレンジ」という問い、各章末に「復習問題のページ」が設けられ、基礎的な用語や知識を整理することができるように工夫されている。また、随所に「歴史の言葉」として用語の解説を加え、理解を促す工夫がされている。 ○ 各章末の「時代の特徴を考えるページ」では、「歴史用語ミニ辞典」の作成や時代の特徴を200字から400字程度で表現する「ひとこと」作文、時代や人物比較、意見交換会など、学びを生徒自身が構造化するための多彩な学習課題を提起している。 ○ 「もっと知りたい」「人物クローズアップ」「外の目から見た日本」等の大型コラムを設け、歴史的事象に対する理解が深まるように工夫されている。キャラクターのセリフを活用して学習のポイントを示唆し、興味・関心が高まるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に歴代天皇の系図を掲載している。この他に、世界各国・王朝の興亡一覧を掲載し、世界史的な内容を整理しやすくする工夫がされている。また、元号と西暦早見表を掲載し、各時代の学習に活用できるように工夫されている。 ○ 判型は AB 変型判で、コラムは行間が広くとってあったり、地図や資料などの図版が大きく掲載されたりするなど、内容が読み取りやすいように工夫されている。 ○ 図版に背景色をつけて、図版と本文を区別しやすくしている。また、ルビをゴシック体にしたりコラムの文章の行間を広くしたり、多くの生徒にとって読みやすくなるように工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 序章の「人物カード」を作成する活動や、各章のはじめに、小学校で学んだ人物を中心に紹介する登場人物紹介コーナーを設けることにより、小学校の学習内容からの移行が円滑になるように工夫されている。 ○ コラム「外の目から見た日本」では、「宣教師が見た日本」など、それぞれの時期に日本人を観察する機会のあった外国人に関するエピソードを紹介し、日本人の道徳性に気付くことができるように工夫されている。 ○ 歴史上の文書・文献が基になっている資料にマークを付けることにより、生徒が自ら歴史的な資料を調査することができるように配慮されている。 | | |

種目名 社会（歴史的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 227 育鵬社 | 教科書の記号・番号 | 歴史 227-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新しい日本の歴史 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ グローバル化の加速する時代に生きる生徒が、広い視野に立ちながら、日本人としての自覚をもって、国際社会で主体的に生きる資質・能力を育てることを基本方針に掲げて編集されている。また、生徒が社会的事象を多面的・多角的に考察したり、説明したりする力を養うための言語活動を重視して編集されている。 ○ 各章の導入に、歴史を大観する「歴史絵巻」や、時代の様子が分かる資料を用いた「○○の世界へようこそ！」を設けて、時代の流れを俯瞰したり、様々な角度から複眼的に時代の特色を理解したりできるように工夫されている。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現を促すために、問題解決型の構成になっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文が平易な言葉で表現され、歴史的事象の意味や意義、事象間のつながりなどを丁寧に説明している。本文に関わる人物や出来事をコラムで取り上げたり、地域の歴史の調べ方について紹介したりすることで、知識・技能が身に付くように構成されている。 ○ 問題解決型の学習の中で、歴史学習における思考力、判断力、表現力等を育むために、「歴史的な見方・考え方」「資料活用」「TRY!」のコーナーを設けており、情報を集めたり、まとめたりする資料活用能力の育成と定着がめざされている。 ○ 「歴史ズームイン」や「歴史ビュー」のページを設け、我が国の伝統と文化を数多く紹介し、興味・関心をもって学習を進められるように工夫されている。また、巻頭では「日本の美の形」を掲載し、日本人の美意識を知る手がかりとなるようにしている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の「歴史学習のまとめ」ページでは、学習したことを基に、「歴史新聞を作ろう」「歴史を大観する」の二つの活動を通して、自分の言葉で時代の特色を表現し、振り返るための学習課題が設定されている。 ○ 判型は AB 判で、生徒が学習しやすいように図版や写真が大きく掲載されており、明るくメリハリのある色彩にするなど、見やすい紙面構成になるように工夫されている。 ○ グラフや地図などの資料には、色覚の特性のある生徒でも識別しやすい色が使用されている。文字の視認性を向上させるために、ルビには読みやすいゴシック体が使われている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 序章では、小学校で学んだ歴史上の人物が、いつの時代にどのような活躍をしたかについて確認できるようになっている。また、高等学校の「歴史総合」に必要な歴史の見方・考え方について、「年代や時代区分の考え方」を設け、具体例を挙げて説明されている。 ○ 「正義と責任」「男女の平等」「自他の敬愛と協力」についての先人の取組など、道徳科の学習に関連した資料やコラムが掲載されている。 ○ 二次元コードから、学習内容に関する動画を閲覧したり、教科書に掲載されていない情報について収集したりすることができるように工夫されている。 | | |

種目名 社会（歴史的分野）

| 観点 | 発行者の番号・略称 | 229 学び舎 | 教科書の記号・番号 | 歴史 229-72 |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| | 使用学年 | 1 ～ 3 | | |
| | 書名 | ともに学ぶ人間の歴史 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文や図版を基に、問いや疑問（課題）をもち、一つの問いや疑問に対して多くの生徒がそれに応答し、対話しながら学び合うことよって、国際的視野に立ち、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な公民的資質を備えることをめざしている。 ○ 見開き2ページの左上に大きな図版が配置され、観察を通して様々な発見や疑問が見出せるように工夫されている。また、タイトルから生徒が疑問を抱き、興味・関心をもって学ぶことができるとともに、本文では歴史の場面を具体的に記述することで、疑問や問いをもって歴史の事象や課題について多角的・多面的に考えられるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大きく鮮明な図版・資料が豊富に用意されており、詳しく読み取って活用する力が身に付くように工夫されている。各部や各章の振り返りでは、地図や年表などを活用して基本的な知識が定着するように配慮されている。 ○ 各部や各章のまとめでは、テーマに応じて学習したことを比較、関連させたり、グループ活動で意見を交換したりして、考えを深められるような課題を設定するとともに、自分の言葉で表現できるように工夫されている。 ○ 各章の扉ページには、北極を中心とする世界地図に、その時代の各地の様子を表す写真や絵を配置して、生徒が興味・関心を高められるように工夫されている。また、学習課題も合わせて提示し、課題意識の育成が図られるようにしている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の年表中に、政府の仕組図や系図、鮮明な写真が配置されており、大きな流れや出来事の間接性をつかめるように工夫されている。また、「北海道など」「本州など」「沖縄など」の欄を設けて、各地域の出来事を具体的に捉えられるようになっている。 ○ 判型はA4判で、大きく鮮明な図版などの豊富な資料が掲載されている。また、針金を使わずに重量を軽くするPUR製本を採用している。 ○ 全ての地図・グラフは、色覚の特性に配慮したカラーユニバーサルデザインになっており、色、線、マークなどが見やすくなっている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「歴史への案内」では、小学校で学習した人物や出来事を振り返るとともに、調べ学習の方法が掲載されている。主権者意識を高めるために、歴史を今日的課題と結び付け、よりよい社会の実現に向けて考えられるようにするとともに、中学校第3学年で学習する公民的分野の学習につながるように工夫されている。 ○ 「源氏物語絵巻」の写本や「枕草子」の一節が資料として掲載され、国語科の古文の学習と関連して学ぶことができるように工夫されている。 ○ 「歴史を体験する」では、インターネットを利用した調べ方を丁寧に示すとともに、調べる、まとめる、発表する、話し合うなどの活動を通して、思考力を培うように工夫されている。 | | |

種目名 社会（歴史的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 236 令書 | 教科書の記号・番号 | 歴史 236-73 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 国史教科書 第7版 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の建国の歴史を知ることや、皇統が万世一系により継承されてきたことを理解できるように編集されている。また、歴史の真実を探究する自主性を促し、答えではなく問いを提起することを重視して構成されており、生徒が自ら調べたり、友達と議論したりすることができるように編集されている。 ○ 歴史の流れをつかむことができるように、各章の最初に、各時代の主な出来事を示した年表を配置するとともに、政治、外交、文化、産業の視点に基づいて考察する視点が示されている。また、各章の最後には、より詳細な年表を配置し、学習のまとめを行いやすいように配慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページを設け、歴史上の人物の紹介や時代背景について詳細な知識を得られるようになっている。また、「field work」のコーナーでは、社会的事象について調べまとめる技能を高められるように、調査活動の仕方やレポートの書き方が示されている。 ○ 各章の「まとめ学習」のコーナーでは、各時代の特色を自分の言葉でまとめて整理できるように工夫されている。また、新聞にまとめる、ディベートをする、ディスカッションをする、表にまとめるなどの多様な表現活動が提示されている。 ○ 「歴史学習の幅を広げよう」のコーナーでは、歴史小説や歴史漫画、百科事典、歴史事典、歴史学の本など、多様な書籍を使って学ぶことの重要性が示されており、生徒の学び方の選択肢が広がるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭には、「世界各国王朝略年表」や「歴代天皇の皇位継承図」を配置し、世界と日本の歴史が概観できるように工夫されている。巻末には、「政権担当者・出来事対照表」を示したり、巻末資料には、各時代の主な出来事を示した地図をまとめて配置したりしており、歴史の流れを把握しやすいように工夫されている。 ○ 判型はA5判で手に取りやすく、取り扱いやすい大きさとなっている。 ○ 文章が、上下に二段組の構成にされており、次の行へ移る際の視線の移動距離を短くすることで、生徒が読みやすくなるように工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「国史を学ぶにあたって」の章では、小学校の歴史の学習を想起させるとともに、小学校で学んだ人物と文化について、図書室の本やインターネットを使って調べ、分かったことをまとめるという学習活動が示されており、中学校の歴史の学習に滑らかに接続できるように配慮がされている。 ○ 巻末には、「日本美術図鑑」のコーナーを設け、各時代の特徴的な文化財や作品をカラーで大きく示し、美術の学習との関連が図られるように工夫されている。 ○ 二次元コードは、歴史的な出来事に関する漫画を読むことができるようになっており、歴史への興味・関心を高めて学習できるように工夫されている。 | | |

種目名 社会（公民的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 公民 002-92 |
| | 使用学年 | 3 | | |
| | | 新編 新しい社会 公民 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 今と向き合い、持続可能な社会の実現に向けて「これからの社会を生き抜く力」を育むことを理念とし、「①学習の流れを可視化し、課題を解決する力を育てる ②自らの考えを整理し、表現する方法を身に付ける ③世界が広がるデジタルコンテンツで学びをアップデートする」という基本方針で編集されている。 ○ 単元のとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、導入部では単元を貫く探究課題を設定している。展開部では1単位時間ごとの学習課題を設定し、終末部では考察したことや構想したことを自分の言葉でまとめられるようにし、段階を踏んでスムーズに探究課題を解決できる構成になっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページごとに、学習内容の確認や説明等を行うための「チェック&トライ」が設けられ、基礎・基本が確実に定着するように工夫されている。また、具体的な資料を基に、学習に必要な技能を習得する「スキル・アップ」が設けられている。 ○ 小集団での参加型学習を行うコーナーを適宜設け、対話的な活動が実践できるように工夫されている。各章の終結部には、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察するまとめの活動が設けられ、思考を整理し、学びを深められるようになっている。 ○ 社会に参画している人へのインタビュー記事や中学生の取組を紹介するなど、主体的に社会に関わろうとする態度を養う工夫がみられる。最終章には、持続可能な社会について構想し自分にできることをまとめるページが設けられている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭には3年間の社会科学習を貫く、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマに関する写真が配置されている。巻末には高等学校の公共への学びにつながるページが設けられている。 ○ 幅広のAB判を用い、資料を大きく豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっている。 ○ 全ての文字にUDフォントが使用されている。カラーユニバーサルデザインに全対応し、不必要な陰影や立体感のあるデザインをなくすフラットデザインになっている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「分野関連マーク」を付すことで、第3学年において、地理・歴史の学習成果を生かした公民学習が展開できるようになっている。また、小学校で学習した用語を示したり、高等学校の公共への接続に配慮された巻末を設けたりしている。 ○ 他教科の学習と関連が深い内容については「教科関連マーク」を付し、教科及び内容項目を示すことで、該当教科の教科書等を参照することができ、学習を多面的に捉えることができるように工夫されている。 ○ 「導入」「展開」「まとめ」それぞれに二次元コードを付し、動画・法令・活動ツール等の多彩なコンテンツを利用して、個別最適な学びや協働的な学びができるように工夫されている。 | | |

種目名 社会（公民的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 公民 017-92 |
| | 使用学年 | 3 | | |
| | 書名 | 中学社会 公民 ともに生きる | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 育てたい生徒像として、「持続可能な社会を創造する市民の育成」を掲げている。社会を読み解き、学び合うこと、市民的教養の基礎・基本が身に付くことや、主権者として、ともに生きる力を育むことができるように編集されている。 ○ 見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすい内容構成になっている。導入ページである「学習のはじめに」から1単位時間で扱うページへ、そして特設ページを経て、各章の終わり「学習のまとめと表現」ページが設けられている。ここでは、三段階のまとめが設定されており、章全体の学習を振り返って整理することができるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各章終わりの「学習のまとめと表現」のうち、「HOP!」において重要語句や短文挿入などの問題が掲載されており、知識・技能の定着が図られるように構成されている。 ○ 各1単位時間で扱うページの最後に、「確認」を受けて学習したことを基に表現する活動として「表現」が設けられている。また、学習の流れに即して、「THINK」や「Q」のコーナーが設けられ、資料を読み取って考察する学習活動が重視されている。 ○ 公民的分野の最後のまとめ学習として「終章：私たちが未来の社会を築く」が位置付けられている。SDG s の視点をもって地球規模の課題と向き合い、自分なりの提案を作成し、提言する活動をすることで公民的資質を培うよう工夫されている。各ページに学習内容と関連するSDG s のアイコンが表示されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真・イラスト・地図・グラフなどの資料が豊富に配置されている。巻頭には、各1単位時間で扱うページとの関わりがある、より最新の写真資料が掲載されている。 ○ 情報量を充実させるためにAB判の紙面を採用し、1単位時間の授業を見開き2ページで構成することで、学習課題の把握と振り返りがしやすくなっている。 ○ キャラクターのイラストは、性差や障害の有無などにかかわらず、多様な生徒が互いに協力し合いながら学習に取り組む様子を描写している。また、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく配色になっている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の学習内容をより深化させた学習が展開できるように配慮されている。また、終章での学びをもとに、主権者としての意識を高め、協働的な学びの中で、公民的資質をさらに培う高等学校での公共の学習の準備となるように工夫されている。 ○ 小学校、他分野、他教科との関連を示す「関連マーク」を付すことで、学習の連携や振り返りを促すように工夫されている。そのため、他の分野や教科との横断的・連携的な学習を進めやすい構成となっている。 ○ 二次元コードから、ワークシートやクイズ教材など、各種のコンテンツにアクセスでき、予習や復習など個別最適な学びを支援するように工夫されている。 | | |

種目名 社会（公民的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 46 帝国 | 教科書の記号・番号 | 公民 046-92 |
| | 使用学年 | 3 | | |
| | 書名 | 社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「持続可能な社会の形成に参画する主権者となり、予測困難な時代を生き抜く力を育む」という基本理念のもと、主体的・対話的で深い学びの実現、現代社会の見方・考え方を働かせて、社会参画の意識及び持続可能な社会の実現に向けた意識の育成をめざしている。 ○ 現代社会、政治、経済、国際の各四部では、章・節・見開きの三段階で構成されている。また、章・節を単元のまとまりとし、学習の見通し・振り返りを行いやすい構成にすることで、生徒が「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように配慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 抽象的な概念や理解が難しい制度・事象については分かりやすい表現にし、豊富な図版を掲載することで興味をもって学習に取り組むことができるようになっている。また、「技能をみがく」コーナーを設け、基礎的技能が身に付くように工夫されている。 ○ 思考ツールを示すことで、効果的に活用して学びが深められるようになっている。また、特設ページ「アクティブ公民」を適宜設け、具体的なテーマを設定した活動型の学習を通じて主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。 ○ 特設ページ「未来に向けて」で SDGs の目標の実現に向けた具体的な例を示し、章末では SDGs の目標や地域の視点で振り返り、自分事として捉えることで持続可能な社会の実現及び社会参画する意識を育成できるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の冒頭には、イラストから社会全体を概観できる特設ページ「学習の前に」が設けられ、実生活が学習内容とどのような関わりをもっているのかを俯瞰してイメージをもつことができるように工夫されている。 ○ 針金を使わない PUR 製本であるため、強度があり、かつ重量の軽量化が図られている。また、針金を使用しないことで資源を節約し、リサイクルしやすくなっている。 ○ UD フォントを採用して、重要語句を示すゴシック体の太さやルビは見やすく工夫されている。写真は鮮明に、図版は記号や注記文字を明瞭に、見やすい色調で掲載されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の冒頭にある特設ページ「学習の前に」では、小学校での既習事項や地理分野・歴史分野での学習を想起してその章の学習内容を俯瞰できるようになっている。また、「小・地・歴」アイコンを設け、関連資料が確認できるようになっている。 ○ 各ページの右下に他教科との関連事項を記載することで、他教科の学習を踏まえて取り組めるようになっている。また、地域社会の実例や伝統文化に関する資料が充実しており、道徳教育でも活用できるものとなっている。 ○ 学習内容とリンクしたワークシートなどで学習の定着を図ったり、用語解説や統計資料などの豊富なコンテンツで個別最適な学びを行ったりすることができるように配慮されている。 | | |

種目名 社会（公民的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 116 日文 | 教科書の記号・番号 | 公民 116-92 |
| | 使用学年 | 3 | | |
| | 書名 | 中学社会 公民的分野 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「単元を貫く問いをつかみ、主体的・対話的で深い学びへと導く」「生徒に基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせ、教師は指導と評価のポイントを一目でつかめる」「持続可能な社会を実現し、豊かな人生を切り拓くための生きて働く力を鍛える」の三点を基本方針として編集されている。 ○ 各章は、導入で章や節の問いを立てて学習を見通し、いくつかの節の問いを解決していき、「まとめと振り返り」ページで章の問いを改めて考える構造になっている。また、個別最適な学びと協働的な学びに関連した箇所には「学び合い」マークを付し、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊富なイラスト教材などを掲載することで、抽象的な事象を理解しやすくできるように工夫されている。また、各章の「まとめと振り返り」では知識の整理を行うとともに、現実の課題に学習した見方・考え方を働かせて考えられる構成となっている。 ○ 特設ページ「チャレンジ公民」では、現代の課題について資料を基に多面的・多角的に考察して学習できるとともに、生徒の考察をサポートする思考ツールを提示している。また、随所に見方・考え方を働かせる問いを設け、様々な学び方を提示している。 ○ 特設ページ「明日に向かって」では、身近な地域の抱える課題を考える活動や、生徒が将来について考えられる教材を設定し、社会参画を促すように工夫されている。また、「公民+α」を設け、学習内容を掘り下げて考察できるようになっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭では SDGs における目標とそれに関連する日本の事例を、巻末では食や交通などにおける世界の新しい科学技術の事例を掲載することで、生徒自らが課題意識をもって学習に取り組めるようになっている。 ○ 生徒の持ち運びの負担を軽減するために、良質で軽く十分な強度のある紙を採用している。また、裏移りが少なくなるように工夫されている。 ○ 視認性の高い UD フォントを使用し、ルビにはゴシック体を採用している。図版はカラーユニバーサルデザインの観点で情報を読み取ることができるように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校での既習事項や他分野の内容を多数掲載することで、相互に連携・関連させながら学習できるようになっている。また、巻末に高等学校の公共での学びとの関連を示すページが設けられている。 ○ 消費者教育では家庭科との関連を意識して学んだり、公共の精神や伝統文化に関する資料は道徳科でも活用したりできるなど、他教科との関わりが意識されている。また、巻末に他教科との関連を示したページが設けられている。 ○ 「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」の三つのデジタルコンテンツを系統的に設定しており、生徒の自主学習の支援が行えるようになっている。 | | |

種目名 社会（公民的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 225 自由社 | 教科書の記号・番号 | 公民 225-92 |
| | 使用学年 | 3 | | |
| | 書名 | 新しい公民教科書 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育基本法及び学校教育法に定める義務教育の目標を踏まえながら、容易に学習でき、さらに豊かな公民的資質を養うことを基本方針としている。また、生徒の発達の段階を考慮した上で、基礎的事項を厳選し、なおかつ主体的に学ばせることにより、深い公民的資質を養えるようになっている。 ○ 公民の学習において重要な内容については、複数の単元で重ねて学習でき、学習内容を段階的に発展させることによって理解が進むように構成されている。また、基礎的事項を厳選し教材を体系化し再構成することによって、深い考え方、理解にたどり着けるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 重要な語句については、適宜「ミニ知識」のコラム等の解説により、他の事項と関連付けながら、理解できるように工夫されている。また、章末の「学習のまとめと発展」では学習を振り返る場面を設けることで、学習内容の定着が図られている。 ○ 「アクティブに深めよう」では、資料を基に図式化したり、表にまとめたりしながらグループで話し合い、課題解決を図る活動が掲載されている。生徒がよりよい社会をめざして、多面的・多角的に考察、構想し、表現できるように工夫されている。 ○ 各章の最後の「学習のまとめと発展」、及び終章のレポート、卒業論文、ディベート等に取り組むことで、公民として必要な主体的、実践的な能力を伸ばしていくことができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に世界に誇る日本の先端技術、巻末に日本の伝統的工芸品の写真や法令等が掲載されており、生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。目次には「ミニ知識」が一覧で示されており、公民に関する重要語句が確認できるように配慮されている。 ○ AB判で写真や図版などの資料が大きく掲載されている。また、詳しい補足説明があり、全ての生徒にとって分かりやすい紙面となっている。 ○ 重要語句は全てゴシック体で示されており、生徒が学習しやすいように工夫されている。ページの帯の色が章ごとに統一されており、学んでいる内容が理解できるように工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵図やグラフ、写真等の資料を豊富に掲載することで、歴史的・地理的分野での学習と関連を図ることができるように工夫されている。特に、「現代社会の歩み」では歴史的分野と関連付けて学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「もっと知りたい」では、道徳科における「主として集団や社会との関わりに関すること」を意識できるような具体的な事例や、他教科等との関連を想起できるような内容が掲載されている。 ○ 章末の「課題の探究」では、学習した知識を活用して、探究を進める際の調べ方が記載されている。その際、ホームページや図書館でのコンピュータ検索の仕方が紹介されている。 | | |

種目名 社会（公民的分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 227 育鵬社 | 教科書の記号・番号 | 公民 227-92 |
| | 使用学年 | 3 | | |
| | 書名 | 新しいみんなの公民 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 持続可能な社会の形成者として積極的に社会に参画できる資質・能力を育てたいとの願いから、生徒が「自分事」として現代社会を捉えられることを基本方針として、現代社会の諸課題に、生徒が生活目線で考え、判断し、考えを深められるように編集されている。 ○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」ための資料をバランスよく配置し、1単位時間で資料を効果的に使い、問題解決できるような課題設定と、資料や調査学習を通して「考え」「判断した」ことを自分なりの表現方法でまとめるテーマ設定で、知識・思考・判断・表現の一体化が図られている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各章末の「学習のまとめ」で問題を解き、学習内容を再確認できるようにになっている。「スキルアップ」では、ロールプレイングやディベート、計算や作図を含むシミュレーションなどを取り上げ、様々な技能を身に付けられるように工夫されている。 ○ 「学習を深めよう」では、社会事象を多面的・多角的に考え、課題について話し合ったり構想したりする活動を掲載し、思考・判断の手助けとなる方法が紹介されている。また、言語活動を促す問いを設け、表現力の育成が図られるように配慮されている。 ○ 各章の導入に「入り口」、章末に「これから」を設けて、「学びのナビゲーション」を示し、主体的・対話的で深い学びが充実するように工夫されている。また、コラムを多数掲載し、自らの生活とつながりを感じられるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭にはSDGsに関する写真、巻末には持続可能な社会に関する日本各地の写真が掲載され、生徒が興味をもって学習に取り組むことができるように工夫されている。また、巻頭に「なぜ公民を学ぶのか」という説明が概念図とともに掲載されている。 ○ AB判で、図版や写真などの資料は、見開きごとに通し番号を付け、確認しやすくするとともに、大きく掲載されており、生徒の興味・関心を促すように工夫されている。 ○ 図版は色覚の特性を踏まえて、色や文字の大きさなどで全ての生徒が見やすいように配慮されている。また、資料の掲載部分には罫線を引き、識別しやすいように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の見開きに、地理的・歴史的分野で学習した内容が紹介されており、三分野の関連性を意識して学習できるようになっている。また、見方・考え方を働かせるコーナーを設け、高等学校の公共の学習に必要な力を育む構成となっている。 ○ 新聞を活用した授業を促すために、新聞記事が多数掲載されており、国語科との関連が図られている。また、キャリア教育や人権教育、防災教育、環境教育などの学習内容そのものが、他教科と強く結び付いているため、横断的な学習が可能となっている。 ○ 紙面に印刷された二次元コードからは、関連する動画や各府省庁のWebページにつながるようになっており、生徒の自主学習の助けとなるよう工夫されている。 | | |

種目名 地図

| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 地図 002-72 |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新編 新しい社会 地図 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「これからの社会を生き抜く力」の育成をめざして社会科の学習を補助する地図帳として、三分野に活用できる主題図を取り入れるとともに、主体的・対話的で深い学びを実現するための資料活用コーナーを新設することで、生徒が主体的に地図を活用して問題を解決する力を養うことができるように工夫されている。 ○ 地理的分野の教科書の構成に合わせて、世界全体の資料、世界各地の一般図と資料、日本各地域の一般図と資料、日本全体の資料、世界と日本の統計資料の順で配列されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の各州・日本の各地方のページには、それぞれの地域を概観する自然・産業・人口などの主題図を設け、基礎的・基本的な知識を習得できるようになっている。また、諸地域の学習で、テーマに沿った学習をする際に役立つ資料を掲載し、知識や技能を課題解決的な学習へ生かすことができるように工夫されている。 ○ 世界の各州・日本の各地方の「テーマ資料」では、世界の地形や気候、世界各地の人々の生活や文化、産業などについての主題図が豊富に掲載されている。また、地域や経年変化など複数の図を比較、検討することで、資料活用能力や思考力を高め、探究的な学習に活用できるように工夫されている。 ○ 地図を活用して学習を深めるためのヒントとなる問いを提示し、進んで調べたり考えたりできるコーナーが設けられている。また、災害、防災ページを充実させ、災害にどのように備え、どのように向き合うべきか考えることで、防災・安全の意識を高められるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に地図帳の読み取り方や活用方法を掲載することで、地図全般の読み取りや活用に役立つようにしている。巻末には「日本の周辺」の地図を掲載し、東西南北端の島々が地図や写真で示されている。 ○ 従来の地図帳に比べ縦を4 cmほど伸ばし、地図が大きく掲載されている。一般図の掲載範囲を広くし、情報を充実させている。 ○ 文字にはUDフォントが採用されるとともに、鮮やかで明るい色を採用し、色覚の特性に配慮したカラーユニバーサルデザインに対応している。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に世界の国や首都を示した世界全図、巻末に日本の都道府県と県庁所在地を示した日本全図を掲載し、小学校での学習を振り返りながら、学習を進められるように配慮されている。 ○ 環境・エネルギー・貧困などの現代的な諸課題を取り上げた内容や、世界と日本の文化に関する資料が掲載されている。また、SDGsを特集するページを設け、現代社会の諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育てることなど、他教科等との関連を図りながら、資質・能力が育成されるように工夫されている。 ○ デジタル地球儀やデジタルマップ、デジタル統計資料など、二次元コードを用意し、これらの資料を組み合わせることで、興味・関心のある内容を追究できるようにされている。 | | |

種目名 地図

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 46 帝国 | 教科書の記号・番号 | 地図 046-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学校社会科地図 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「持続可能な社会の実現に向けて、世界・日本の理解を深められる地図帳」が基本方針に掲げられている。特色として、「地図の活用を通して世界と日本の地域的特色が捉えられる工夫」「持続可能な社会の実現に向けて考察できる工夫」等が挙げられる。 ○ 地理的分野の学習に合わせて、世界は州別に、日本は地方別に地図・資料が構成されている。また、世界の全州・日本の全地方を網羅し、各州・各地方の特色を具体的に読み取ることができる資料が掲載されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界の各州」には、自然環境や生活、文化、産業などの要素を配した鳥瞰図が掲載されており、地域的特色を視覚的に捉えることができるよう配慮されている。また、「日本の自然災害・防災」のページが設けられ、日本で起こりうる自然災害と、それらへの対策について理解することができるように工夫されている。 ○ 日本の主題図では、自然環境、人口、産業、交通の4つの中核となる事象を網羅した5図が設けられ、資料の比較を通して、社会的な見方・考え方を働かせることができるように工夫されている。また、主題図の縮尺を可能な限り統一することで、各地域の特色について深く考察することができるように配慮されている。 ○ 問い「地図で発見！」が要所に配置され、地図の読み取りなどの地理的スキルの習得や課題解決的な学習に、主体的に取り組むことができるように構成されている。また、実際の地形図を取り上げ、興味や関心をもって地形図の見方を身に付けられるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「この地図帳の凡例」「この地図帳の使い方」が設けられ、地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、索引など、地図帳の基本的な見方・使い方が示されている。 ○ 軽くて丈夫な地図帳専用紙が採用されており、A4判の紙面に、鮮明な5色刷りで印刷されている。 ○ 全体にわたってUDフォントが使用され、色覚の特性に配慮して読み取りやすいカラーユニバーサルデザインに対応した色彩表現となっている。インクルーシブ教育に配慮された「地名を手話で表す」コーナーが設けられている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校で身に付けた技能を発展させた「この地図帳の使い方」が設置されている。二次元コードのコンテンツ内に、「小学校の振り返り」が収録されている。 ○ 学習を進める上で重要な国名や首都名には欧文が併記され、国際化への対応がなされている。環境問題や持続可能な開発目標(SDGs)の観点に基づいた資料が豊富に掲載されており、他教科との関連を図ることができるように工夫されている。 ○ 二次元コードが設置されており、世界・州別衛星画像や日本の基礎主題図等の図版資料、動画など、生徒が主体的に学習し、資料活用能力を高められるようなデジタルコンテンツが収録されている。 | | |

種目名 数学

| | | | | |
|-----------------------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 数学 002-72 002-82 002-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新編 新しい数学1、2、3 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ | | |
| 1 編集 の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学のつながり」を「MATH CONNECT」として、「数学」と「数学・身のまわり・社会」とのつながりが示されている。さらに、これらを通して、生徒が数学に興味・関心をもち、数学的な見方・考え方を働かせながら、考える力が身に付くように工夫されている。 ○ 学習内容の系統性を重視し、螺旋的に学習が行えるよう、配列が工夫されている。また、一般から特殊の流れで公式を学習できるよう配慮されている。多くの章で「単元を貫く題材」を用い、学びが連続し、生徒が主体的に解決できるように展開が工夫されている。 | | |
| 2 学習 指導要領 との 関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるよう、個人差にも対応できるきめ細かな問題構成であり、全国学力調査や各自治体などの学力調査のエビデンスに基づき、課題が見られる内容が丁寧に扱われている。 ○ 「数学の問題発見・解決の過程」を重視した数学的活動を各章に設けるとともに、章末では豊富な「活用の問題」を取り上げるなど、日々の学習を通して思考力、判断力、表現力等を養うことができるように配慮されている。 ○ 数学を生活や他教科等において活用するための学習が重視され、生徒が数学の有用性を実感して、学習への意欲を高めるとともに、学習を振り返る機会を随所に設け、自らの取組を評価・改善しようとする態度が養えるように工夫されている。 | | |
| 3 使用 上の 便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えを説明し伝え合う活動として、巻頭の「マイノート」では、自分の考えだけでなく、学習を記録する際に大切にしたい観点が示されており、他者の考え、問題解決の過程での気づきや振り返りを書く習慣が身に付くように工夫されている。 ○ 用紙は白色軽量化用紙を使用し、インクは環境やアレルギーなどに配慮したものが使用されている。製本は開きやすいつくりとなっている。 ○ 多くの生徒が学びやすい教科書のユニバーサルデザインを実現するとともに、生徒の多様な特性に対応できる学習者用デジタル教科書等が発行されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ つまずきに対応できるよう、「学びのベース」等を設け、定着が不十分な内容を具体的な例で確認・練習ができるようにしている。「数学のまど」では、高等学校での学習につながる発展的な内容が多く取り上げられている。 ○ 実社会や他教科の学習に数学を活用する題材を、現代的な諸課題の視点で選定し、実社会と結びついた題材を豊富に取り上げ、生徒の課題意識を高めるとともに、教科等横断的な学習につながるよう工夫されている。 ○ デジタルコンテンツを活用して、学習内容の理解を促し、図形を動的に捉えるなど効果的な学習指導が行えるように配慮されている。また、ICTの「学び」への活用がサポートされている。 | | |

種目名 数学

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 4 大日本 | 教科書の記号・番号 | 数学 702 802 902 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 数学の世界1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的活動を通して、思考力、判断力、表現力等を育てるために、問題発見・課題解決の流れを示し、見出した問題の解決の仕方が身に付くよう工夫されている。また、学習を振り返ることで数学の有用性に気付き、学習を広げたり、活用したりする問題を通して、数学のよさを実感できるように工夫されている。 ○ 各領域ともに学年間の系統性が重視されており、各学年においても領域間の構成が特に配慮されている。各章は導入の活動から始まり、それに続く本文は、生徒の思考の流れに沿った構成となっており、学習内容を段階的に思考していくことで、学習内容の理解を促す問いかけが、順次設けられている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の側注「思い出そう」で、小学校や前の学年で学んだことを掲載し、必要に応じて学習を振り返りながら基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、繰り返し練習する機会を豊富に設け、学習内容の確実な定着が図れるように工夫されている。 ○ 式や表、グラフなどを利用して調べたり、説明したりする場面が積極的に設けられている。他の人の考えを読み取る活動で数学的な表現力を伸ばすとともに、複数の考え方を比較したり考察したりする活動で、思考力・判断力を高める工夫がされている。 ○ 複数の生徒の考え方を提示し、それを読み取って比べることを通して多様な考えを認め、よりよく解決しようとする態度が養われるように工夫がされている。また、問題解決の過程を振り返ったり、評価したりすることを促す問いが設けられている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の「課題学習」では、既習の数学科の内容を生かして考える課題の例を示し、この例を基に生徒が身の回りや数学科の学習で疑問に思ったことや知りたいと思ったことを課題に選び、取り組めるように配慮されている。 ○ 印刷は読みやすく鮮明な仕上がりであるとともに、色覚の特性に配慮した4色刷りを有効に使用している。また、長期間の使用に耐えるよう堅牢に製本されている。 ○ 文字の読みやすさに配慮し、本文はUDフォントを使用するなど、絵や写真の配置や色使い、マークや囲みのデザイン、読みやすい位置での改行などが工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入課題「考えよう」では、既習内容の確認を重視し、新たな学習内容とのつながりが示されている。第3学年の巻末には「知りたい！高校ではどんな数学を学ぶのかな？」を設け、高等学校の学習内容を中学校の学習内容と関連付けて掲載されている。 ○ 他教科に関連する豊富な題材が設定されている。また、巻末の「MATHFUL (マスフル)」において、各教科の内容のほか、数学史、情報教育の話題など、総合的な学習の時間のテーマとしても有効な題材が数多く掲載されている。 ○ Webマークをつけた課題には、理解を深めるためのシミュレーション、動画、資料などのコンテンツが用意されており、該当箇所の二次元コードからアクセスすることができる。 | | |

種目名 数学

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 11 学図 | 教科書の記号・番号 | 数学 011-72 011-82 011-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学校 数学1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 未来を切り拓いていく子どもたちが必要な資質・能力を育成することをめざし、子どもたちが未来を見つめて、問題に立ち向かい、解決するために必要な資質・能力が育成されるよう、「みつける」「つながる」「いかす・ひろがる」を意識して編集されている。 ○ 各章は、課題を見出す場としての導入、課題を解決し新たな内容を理解するための本文や「例」、その習得を図るための「問」、基礎・基本を確認するための「確かめよう」、学習の総まとめを行うための「章のまとめの問題」と、一貫した学習ができるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識が確実に習得できるように、既習事項を適宜示したり、適用問題を数多く用意したりするなどの工夫がされている。また、計算領域では、「計算力を高めよう」のページから、技能の習熟が図れるように工夫されている。 ○ 「数学的活動のページ」では、日常生活や社会の事象を数理的に捉え、数学的に考える思考力、判断力、表現力等を育成できるように工夫されている。また、疑問を発見し解決の過程で新たな疑問の発見が協働的に行われるよう配慮されている。 ○ 様々な場面で他者の考えや意見を多様な考え方として示したり、対話の場面を提示したりするなど、他者の考えに触れる機会を設けてあり、他者とのつながりを意識しながら、協働的に学習を進める態度を養うことができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「この教科書を使った数学の学び方」を提示し、生徒が自主学習が進められるように工夫されている。巻末の「今の自分を知ろう」は、パフォーマンス評価として設定され、自己評価表により1年間の学習を総括できるようにされている。 ○ 表紙は、汚損しにくいよう表面にコーティングが施されている。また、本文用紙は、紙質を保ちながら軽量化が図られているとともに、堅牢に製本されている。 ○ UD フォントを使用することで、従来よりもやや太くはっきりした書体となり、読みやすく、多くの生徒が理解しやすい文字になるよう配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校算数の教科書との教材や導入の共通化を図り、小学校と中学校の螺旋的な学習ができるように配慮されている。また、学習内容との関わりある高等学校の学習内容が、適宜紹介されている。 ○ 数学科の教科書の中であっても、他教科の学びに触れることができ、そこから、数学の内容が他教科の内容に生かされていることに気付き、数学科の有用性を認識することができるように工夫されている。 ○ 生徒一人ひとりの理解に応じて、理解の助けになったり既習事項を確かめたりできるようなデジタルコンテンツが用意され、主体的な学習習慣が身に付けられるようになっている。 | | |

種目名 数学

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 数学 017-72 017-82 017-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学数学1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校算数科の教科書と一層の連携を図り、未来を切り拓くために必要な資質・能力が、子どもたち一人ひとりに身に付くよう「『問い』をもち、見方・考え方を働かせて学び合う教科書」「数学のよさを実感することで、社会へつながる教科書」「学びをつないで、確かな学力を育てる教科書」となるよう編集されている。 ○ 学習過程で生じる生徒の疑問から、主体的・対話的な学びを通して、学習して分かったことを整理し、解決の仕方を見出す中で、さらに新たな疑問へつながる数学的活動のサイクルを位置付けることで、一人ひとりの生徒が問いをもって学び合いながら考えを深めていく構成となっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の「例（例題）」と「問」の間に、スモールステップとなる「たしかめ」を設けて、基礎・基本が習得できるように工夫されている。また、各種調査で課題が見られる内容には、誤りを正す問題を掲載するなど、つまずきに対する配慮がなされている。 ○ 「大切にしたい数学的な見方・考え方」で、数学的な見方・考え方を既習の具体例を基に紹介し、これから始まる学習の中で見方・考え方を働かせることができるように配慮されている。数学的な見方・考え方を働かせたい箇所には「羅針盤マーク」を付けて、意識付けが図られている。 ○ 「章とびら」では、実社会や生活、先端テクノロジーなどに関する話題を取り上げ、数学の有用性を感じられるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの観点から、巻頭の「みんなで数学をはじめよう！」や「学びのプロセスページ」で、問題発見・解決の過程を示すことで、主体的・対話的な数学科の学び方を意識できるように工夫されている。 ○ 環境保護のため、用紙は再生紙を使用し、植物油インキで印刷されている。また、生徒の負担を軽減するために、本文用紙の軽量化が図られている。 ○ 教科書に登場する生徒は、男女偏りなく掲載されており、背景の異なる生徒を登場させるなど、多様性や異文化理解への配慮がなされている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びのマップ」で前学年の既習内容等を振り返ることができる。「算数から数学へ」を設け、小学校算数科から中学校数学科への内容の拡張が示されている。「ひろがる数学」では、高等学校数学科の内容を中学校の学習と関連させて掲載されている。 ○ 全体を通して、「ESD・SDGs」「防災・安全」「人権・多様性」「伝統・文化」に関する題材が取り上げられている。また、陸上競技のトラックの作り方、記号や式の英語の読み方、斜面上の球の運動など、他教科との関連が積極的に取り上げられている。 ○ ICTが効果的に活用できる場面にデジタルコンテンツ「まなびリンク」を用意し、二次元コードからアクセスできるように工夫されている。 | | |

種目名 数学

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 61 啓林館 | 教科書の記号・番号 | 数学 061-72 061-82 061-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 未来へひろがる数学1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学を学ぶ楽しさや意義を実感でき、一人ひとりが豊かで質の高い学びを実現できることや、育成すべき三つの資質・能力をバランスよく育むことができることなど、六つの基本方針の基に編集されている。生徒が自己の学びの過程を振り返って評価し改善を図ることができるように工夫されている。 ○ 内容のまとまりごとに章を構成し、学習が自然に進められるように配列されている。基礎的・基本的な内容に重点を置きながらも学習内容を深化させる課題等も用意しており、個に応じた学びにも配慮されている。配当時数については、実態に応じて指導時数の調整が可能になるよう、ゆとりをもって配分されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本の確実な定着を図るため、スモールステップの展開や計算や式の変形などを丁寧に示すなどの工夫がされている。章末問題では、理解が不十分な場合には、どこに戻ればよいかを明記するなど、技能の定着が図れるように工夫されている。 ○ 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」では、自分の考えを整理し、まとめて伝えたり、他者と自分の考えを比較して考えたりする場面を設け、思考力、判断力、表現力等が高まるように工夫されている。 ○ 節ごとに「学習のとびら」を設置し、生徒自らが主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。また、「学びをたしかめよう」や「○章のあしあと」では、自らの学びの過程を確認して次の学びへと進むことができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次が教科書全体と「数学広場」でそれぞれに配置され、これから学ぶ内容が分かりやすく掲載されている。また、「さくいん」では、教科書で学習する用語だけでなく、記号もまとめて掲載し、自主学习で活用できるように工夫されている。 ○ 表紙・裏表紙には汚れにくく丈夫な加工が施されている。また、強度が保てる「あじろ綴じ」を採用し、長時間の使用に耐え得るように製本されている。 ○ 色使いについては、見分けることが困難な配色を避け、色だけで判断するような情報は扱わないなどの配慮がされている。また、文字のフォントはUDフォントが採用されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい学習の導入を丁寧にしたり、小学校の内容を補ったりする等、小学校とのギャップを感じさせないように配慮されている。また、「学びをいかそう」を設け、高等学校の数学科につながる内容を扱う等、興味・関心を高めるように配慮されている。 ○ 理科との関連で、鏡の反射を題材として扱う等、他教科との関連にも配慮されている。また、総合的な学習の時間との関連や柔軟な指導計画の作成ができるように配慮されている。 ○ 問題解決にICTを活用できるよう、シミュレーションのデジタルコンテンツが用意されている。また、「補充問題」と章末問題は解答もコンテンツで参照することができ、生徒自身で答え合わせができるように工夫されている。 | | |

種目名 数学

| | | | | |
|-------------------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 104 数研 | 教科書の記号・番号 | 数学 104-73 104-83 104-93 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | これからの 数学1、2、3 | | |
| 1 編集 の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実を図ることで、生徒たちが数学の基礎的・基本的な知識・技能を習得し、容易に正解の出ない課題に対して果敢に挑戦し、学んだ数学を活用して考える過程や、学ぶこと自体に主体的に向き合えるようになることをねらいとして編集されている。 ○ 新しい学習内容に関連する既習事項を取り扱い、系統性を意識しながら意欲をもって学ぶことができるように編集されている。項目を細かく立てることで内容の区切りが分かりやすくなっている等、授業での使用が十分考慮され、生徒にとって学びやすい構成になるように工夫されている。 | | |
| 2 学習 指導要領との 関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「例」や「問」を細かく配置し、基礎的・基本的な知識・技能が無理なく習得できるように丁寧に記述されている。また、項目末に必要な応じて「練習問題」を設け、繰り返し練習が必要な問題に取り組むことができるように設定されている。 ○ 対話におけるキャラクターの数学的な見方・考え方に繰り返し触れることで、数学的な見方・考え方が自然と身に付くような構成になっている。また、「方法の説明」や「理由の説明」を随所に設け、伝え合う力が高まるように工夫されている。 ○ 学習のめあてが、生徒の学習にとって最適な位置に示されている。また、学び方に関するチェックシートが設けてあり、主体的な学びと協働的な学びそれぞれに対して大切にしたいポイントを確かめることができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の 便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「学習の進め方」等を設け、数学の学びを進める上で大切なことを確認できるようになっている。巻末には、生徒一人ひとりの特性に合わせた扱い方ができるページが配置されている。 ○ 印刷には植物油インクを、用紙には再生紙が使用されている。また、教科書が軽量化され、生徒にとって使いやすいものになっている。全体的にカラーユニバーサルデザインに配慮され、鮮明で見やすく、見分けやすいものとなっている。 ○ 同じ教室で多様な生徒が学ぶことを想定し、ユニバーサルデザインに配慮されている。キャラクターのイラストでは、性別等を固定せず、多様性を認められように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 算数科の内容を振り返りながら学びを進められたり、第1学年巻末で、算数科の内容をまとめて確認できたりするように工夫されている。また、数学全体のつながりを考慮し、高等学校で学ぶ内容の一部に自然な形で触れられるように配慮されている。 ○ 数学に関係する英単語を紹介したり、圧力、濃度、天体などを扱ったりする等、他教科の学習内容との関連が考慮されている。また、防災・減災教育や主権者教育、道徳教育など教科教育を越えた指導について配慮されている。 ○ 「補充」「イメージ」「資料」「考察」「探究」の5種類のコンテンツとリンクし、生徒の特性や習熟度に応じた学びをサポートできるように工夫されている。 | | |

種目名 数学

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 116 日文 | 教科書の記号・番号 | 数学 116-72 116-82 116-92 |
| | 使用学年 | 第1～3学年 | | |
| | 書名 | 中学数学1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現のために、その場面で必要な「数学的な見方・考え方」を明示し、数学的な見方・考え方を働かせながら、数学的活動に取り組めるようにするとともに、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図り、各章で生活や学習に数学を生かす活動が設けられている。 ○ 原則1単位時間の授業で扱う内容を小節とし、学習内容の区切りが明確で学習の焦点化を図りやすい構成になっている。小節末には「次の課題」を適宜示し、次の学習への意識が高まるように工夫されている。また、実態に応じて扱うことができる問題や課題が豊富で、個別最適な学びに配慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「例」をきめ細かなステップで展開しており、基礎的・基本的な内容の理解や復習がしやすくなっている。また、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるのに十分な量の問題が、小節、節末、章末、巻末に用意されている。 ○ 事象を論理的に考察する数学的活動の場面が適宜設けられている。また、数学的に説明をする学習の初期段階では、穴埋め形式で説明を完成させる問題を設けるなどして、数学的な表現力が段階的に身に付けられるように配慮されている。 ○ 生徒が疑問を抱き、興味を引くような事柄が提示され、その疑問を数学の問題として解決する過程や、「身近なことから」から数学の問題を見出す過程が丁寧に扱われており、数学を生活や学習に生かそうとする態度が養えるように工夫されている | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「数学の学習を始めよう!」「学びに向かう力を育てよう!」「数学的な見方・考え方を身につけよう!」「ノートのかふう」「ICTを活用しよう!」を掲載することで数学の学び方が身に付くように配慮されている。 ○ 文字、図版、写真は鮮明に印刷されており、目に優しい中間色を基調とし、メリハリのある色使いとなっている。紙質や製本は長期間の使用に耐えるように配慮されている。 ○ 読みやすいUDフォントが全面的に使用されており、読みやすい位置で改行したり、カラーユニバーサルデザインに配慮した区別しやすい色を使用したりするなど工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の直前に「次の章を学ぶ前に」を設け、必要となる既習事項を確かめて学習を進められるようになっている。第1学年巻末の「算数の確かめ」で、小学校算数科で学んだ事柄のうち、よく使われる内容を学び直すことができるよう配慮されている。 ○ STEAM教育に関連する科学や芸術の内容や、ESD、SDGsなど現代的な諸課題に関する課題など他教科と関連の深いものが教科等横断的に取り上げられている。また、プログラミング的思考を育成する「プログラムと数学」が全学年に設けられている。 ○ 動画やシミュレーション、練習問題などがデジタルコンテンツとして用意されている。ペンツールで各自の考えを書き込み、交流するなど、協働的な学びにも取り組みやすくなっている。 | | |

種目名 理科

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 理科 002-72 002-82 002-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新編 新しい科学1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 科学の一番の基本となる「探究する」ことを、生徒が自分事として捉え、主体的にワクワクしながら体感し、学ぶことができるよう、「ビジュアルな紙面から促される学習意欲」「誰もができる探究 3つの見える化」「紙×デジタル=学力向上 わかる・できるを確かに！」を大切にして編集されている。 ○ 見開き2ページが1単位時間構成となっており、一見して学習内容のまとまりや探究の流れが分かり、授業の見通しが立てやすいように工夫されている。各単元の学習内容の関連性や教材の入手時期などを考慮し、身近な自然を活用しながら学ぶことができるように単元が配列されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ つまずきやすい内容には「例題」とその考え方、類題である「練習」など、スモールステップで基礎・基本を習得できるように配慮されている。二次元コードから確認できる単元末問題、章末問題は、苦手なポイントに個別にアプローチしやすくなっている。 ○ 「分析解釈 考察しよう」「検討改善 解決方法を考えよう」など、言語活動が配置され、科学的な思考力、表現力が育まれるように工夫されている。「理科の見方・考え方」を具体的に示し、学びを深められるように工夫されている。 ○ 「問題発見 レッツスタート！」やコラム「なるほどね！」などで、身の回りの事象について考えさせる場面を設けたり、各章で学習したことを日常生活や社会に結び付けたりして、理科を学ぶ有用性を実感できるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びのライン」で流れを分かりやすくすることで、主体的に学びに向かう態度が身に付くように生徒の活動をサポートする工夫がされている。第1学年から環境に対する話題を取り上げ、持続可能な環境に対する意識が高まるように工夫されている。 ○ 判型は AB 判を採用し、写真やイラストをダイナミックに掲載している。そのため、主題がはっきり伝わり、生徒の思考や学習意欲が喚起されるようになっている。 ○ 生徒のキャラクターは男女同程度の頻度で登場させ、性別が固定的イメージにならない服装になっている。背景の違いや障害の有無にかかわらず、協働的に活動する様子が掲載されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「これまでに学んだこと」で、既習事項を確認できるようになっている。高等学校へつながる内容が、発展的な学習内容として取り上げられている。 ○ 他教科で学習する理科と関連の深い内容を「（教科名）で学ぶこと」として示され、学習内容のより深い理解につながるように工夫されている。 ○ デジタルコンテンツの活用が有効な箇所には二次元コードを付し、授業や家庭学習など、一人ひとりのニーズや学習場面に応じて使用できるように工夫されている。また、「情報を活用して学習を進めよう」では、ICT 機器に親しみ、使い方の基礎を身に付ける工夫がされている。 | | |

種目名 理科

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 4 大日本 | 教科書の記号・番号 | 理科 702 802 902 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 理科の世界 1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科に親しみがもてる」「基礎的・基本的な学力が身につく」「学びがつながる・広がる」「学びが深まる」を基本方針として編集されている。また、教科書全体を通して、明快で分かりやすい文章や図で構成されており、各学年で特に重視する項目は、目立つデザインで示されている。 ○ 単元始めの「これまでに学習したこと」「これから学習すること」では、既習事項を振り返り、見通しをもった学習を行うことができるように、学習の連続性が意識されている。小学校との接続も重視し、1分野・2分野を区別することなく、観察・実験のしやすい時期、発達の段階などに配慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「章末問題」「まとめ」「単元末問題」を掲載して、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。また、「基本操作」では、図や写真だけではなく、動画コンテンツも用意され、器具の基本的な操作（技能）が確実に身に付くように配慮されている。 ○ キャラクターの問いかけや発言などをヒントに思考力、判断力、表現力等が育まれる構成になっている。また、観察・実験には「結果から考えよう」を設け、考察するポイントや結果の例が示され、考察する力を養うための工夫がされている。 ○ 分かりやすく興味深い写真やイラスト、資料が掲載され、自然の事物・現象に意欲的に関わろうとする態度を育む工夫がされている。また、生徒自身で探究を進められるように「探究活動」や「自由研究にチャレンジしよう」が掲載されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「理科の学習の進め方」を掲載し、見通しをもって探究的に学習を進められるように配慮されている。SDGsやSTEAM教育、国際理解について取り上げ、学んだことを日常生活や文化などにつなげて、幅広い視点をもてるような資料が掲載されている。 ○ 判型はB5判で、多くの生徒が使用するノート等と同じ大きさになっている。紙質は、上質かつ軽量で、堅牢さをもつ用紙を使用している。 ○ 掲載する図や写真は、性別にかかわらず協働する様子が掲載されている。また、読みやすい位置での改行、カラーユニバーサルデザインなど、どの生徒にも見やすいように工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部分の「これまでに学習したこと」や、必要に応じて「思い出そう」を設けることで、小学校や中学校の下位学年との既習事項を関連付けて学べるように配慮されている。 ○ 「Science Press」「くらしの中の理科」「Professional」「つながる」などでは、実社会や実生活に結び付く話題が取り上げられている。「ことば」では、語句の意味や英語での表現などを紹介し、国語科や英語科の知識と関連させて学ぶことができる。 ○ 「理科の世界 WEB プラス」など、Web コンテンツが活用できる内容に二次元コードが配置されており、観察・実験の解説動画や全国の自然観察スポット集の他、「学習のまとめ WEB テスト」「Try! WEB テスト」が掲載されている。 | | |

種目名 理科

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 11 学図 | 教科書の記号・番号 | 理科 011-72 011-82 011-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学校 科学1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ これからの社会の中で、子どもたち一人ひとりが持続可能な社会の担い手として主体的に生きていくために、個々の考えを尊重しながらともに問題解決していく中で、互いに高め合う力を育成することを編集の基本方針とし、理科の資質・能力を育めるような編集となっている。 ○ 各単元の内容が全て三つの章に整理されており、全学年を通して学習内容の区切りが分かりやすく構成されている。ゆとりある時数配分や年間指導計画が可能な構成になっており、探究活動を充実させたり、基礎・基本の定着に力を入れたりするなど、生徒の実態に応じることができる構成となっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 理解を深めるためのページを簡潔にまとめ、探究のページと明確に独立させており、生徒の自学自習での振り返りが行いやすくなっている。各単元の目標を「Can-Do List」として示し、細かに自己チェックできるようになっている。 ○ 1単位時間の「見方」「考え方」が授業ごとに設定されており、「何ができるようになるか」を意識した授業が展開できるように構成されている。仮説設定や計画立案の場面には、生徒の話合いを提示し、探究の過程が分かる工夫がされている。 ○ 科学的探究の過程が分解して示されており、探究の進め方が理解しやすくなる工夫がされている。実験ページ内のコラムでは、観察・実験の手法やその方法が適切である理由などが掲載されており、自ら探究の計画が立てられるようになっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨今の課題への対応例が豊富に掲載されており、各章の始めにSDGsの目標との関わりが示されていたり、「脱炭素社会」をテーマにした特集ページが掲載されたりしている。 ○ AB判を採用し、学習の流れが見やすくなっている。紙面デザインを控えめにしたり、教科書本文と図を見分けやすくしたりするなど工夫がされている。 ○ ページの左側に必ず本文が配置されるように構成されており、図版には薄い青色の地網を施すなど、どの生徒にも見やすいように工夫がされている。登場するキャラクターはモノトーンを基調としたデザインになっている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の最初に「振り返ろう・つなげよう」のページが設定され、既習事項との関連が図られているとともに、その後の学習が見通せるように工夫されている。発展的な学習内容については、「発展」と表示され、本文と明確に区別されている。 ○ 「探究を深める 理路整然」の中でグラフの見方、速さ・距離の計算方法などが示されている。様々な職業と科学の関わりが示されており、公共の精神や社会参加が意識されている。 ○ 教科書の全てのページ内容が、Web ページとして再構成しており、興味に応じて上位学年にも下位学年にも遷移できるようになっている。また、動画教材や操作系教材も多数利用できるようになっている。 | | |

種目名 理科

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 理科 017-72 017-82 017-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 自然の探究 中学理科1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日々、急激に変化し続ける社会の中で、自ら未来をひらく力を育むため、「自然を探究する学びを通して、仲間とともに主体的に未来をひらく力が身に付く教科書」を基本理念として、「探究する力」「確かな学力」「デジタルの学び」の三つの特色を備えた教科書として編集されている。 ○ どの單元においても、「探究の進め方」に基づいて探究的に学習を進められるように共通した構成となっている。それぞれの單元が独立した構成となっており、指導順を組み替える等、地域や学校の実態に応じた指導計画が立てやすいように配慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 5段階のステップで、課題を科学的に解決していくときの土台となる科学的な知識・技能が定着できるように構成されている。器具を使う場面では「基礎技能」を掲載し、使い方を確実に習得できるようになっている。 ○ 「課題を決める」「仮説や計画を立てる」「考察する」「結論を示す」といった探究の進め方が示されており、課題に探究的に取り組む中で、自然に思考力、判断力、表現力等が身に付くように構成されている。 ○ 生徒の疑問から課題を設定し、探究型の授業に取り組めるような構成になっている。「学習前の私」「学習後の私」では、日常生活と関連付けながら自身の科学的概念の変容を認識させる場面を設けることで、興味・関心がもてるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の折り込みに「探究の進め方」を設け、本文ページを開いた状態でも探究の過程全体を確認できるように工夫されている。「ハローサイエンス」には関連するSDGsのマークが付けられ、「まなびリンク」の「SDGsずかん」で詳しく解説されている。 ○ AB変型判を採用し、学習の流れが見やすくなっている。大判紙面の利点を生かし、ダイナミックなイラストや写真が豊富に掲載されている。 ○ 識別しやすい色使いになるよう配慮されている。生徒キャラクターや写真は、男女が役割を固定することなく均等に登場し、背景の異なる人と協力し合って学習する姿が表現されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各單元扉の「学んでいくこと」や各章扉の「これまでの学習」で、学習内容に関連する既習内容を示すことで、学習の系統性が意識できるように配慮されている。また、高等学校で学習する理科への興味・関心が高められるように工夫されている。 ○ 「ブリッジ算数」のマークを付けて算数科との結び付きを紹介したり、「理科で使う算数・数学」のページを設けたりして、教科間の関連を図りやすいように工夫されている。 ○ 教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできる「まなびリンク」では、器具の使い方や資料動画、3Dモデルなどデジタルでの学びがサポートされており、個別最適な学びに便利なコンテンツが多数用意されている。 | | |

種目名 理科

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 61 啓林館 | 教科書の記号・番号 | 理科 061-72 061-82 061-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 未来へひろがるサイエンス1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「探究する力を育てる教科書」を基本方針として編集されている。「だれもが探究的に学べる」「理科への興味を引き出す」「学びを振り返り、確かな学力が身につく」など、探究を通して学ぶ構成に加え、1人1台端末を有効に活用して多様な学びが実現できるようにデジタルコンテンツを強化して編集されている。 ○ 科学的に探究するために必要な資質・能力を育てられるよう、1年間を通して探究を意識した学習が進められる構成になっている。それぞれの単元で「課題の把握→追究→解決」を具体例で見える化し、探究の過程を通じた学習を何度も繰り返して行えるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「つながる学び」「Reviewふり返ろう」「学習のまとめ」では、既習事項や学習内容を確認することができるように工夫されている。また、つまづきやすい場面などには「例題」を配置、同じ考え方で解ける「練習」に取り組めるように工夫されている。 ○ 学習課題を軸として課題解決を繰り返し、科学的な思考力が身に付くように工夫されている。「探Q実験」では、対話例を示したり、根拠を基に自分の考えを書くスペースを確保したりと、表現力の向上や言語活動の充実が図られる工夫がされている。 ○ 章末の「この章の学びを次の視点で振り返ってみよう！」では、自ら学びを振り返る習慣づくりをサポートしている。また日常生活や社会との関連を意識したコラムを多数取り入れ、理科を学ぶ有用性が実感できるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 科学的な根拠に基づいて様々な問題を理解し判断できるよう、各学年のSDGsに関連するコーナーにマークを付け、SDGsに触れる場面を設定している。 ○ 左右に広いAB判により、丁寧な本文記述とダイナミックな自然写真や日常生活とつながる写真・資料を多く掲載することで探究心を高め、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 生徒の写真やイラストは、性別や背景の違い、障害の有無に関わらず、互いに協力しながら活動している様子を掲載している。全ての生徒が学びやすいよう、配色・デザインなどが工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 章導入や本文中に「つながる学び」を設け、小学校理科の内容や既習内容を確認できるように工夫されている。高等学校理科につながる発展的な学習内容には、「高校化学へ」のマークを表示し、将来の学習への期待感をもたせるように工夫されている。 ○ 巻末に「理科でよく使う算数・数学」、本文中に国語科、社会科学、技術・家庭科等、他教科との関連に気付かせるコーナーを設けるなど工夫されている。 ○ 探究的な学習の記録に使えるコンテンツ「デジタル探Qシート」を用意するとともに、協働的な学びや、個別最適な学びをサポートするコンテンツなどのデジタル教材が豊富に用意されている。 | | |

種目名 音楽（一般）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 音楽 017-72 017-83 017-84 |
| | 使用学年 | 第1学年 第2・3学年 | | |
| | 書名 | 中学音楽1、2・3上、2・3下 音楽のおくりもの | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽的な見方・考え方を働かせ、イメージや感情が膨らむようなページ構成及び音楽文化と豊かに関わりながら学びを進められる内容が施されている。また、資質・能力を育むために精選された教材と、適切な学習の進め方を示すことで、主体的・協働的な学びを深められるように編集されている。 ○ 音楽科の学習の全体を見通せる学習MAPが掲載されており、育成をめざす資質・能力と教材、領域・分野との関係性が明示されている。また、共通事項を軸にした「学習の進め方」が提示されている。この学習MAPは、小学校6年間の「学習マップ」を受け継いで展開されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習MAPの「学習の進め方」において、「共通事項」にある「音楽を形づくっている要素」を手掛かりに学習を進めていくことが示されており、様々な要素について理解を深めるページが特設されている。 ○ 「音楽を形づくっている要素」を基に、音楽の魅力を感じ取ったり、思いや意図を生かして表現したりできるように教材や扱い方が配慮されている。また、それぞれの曲の特徴を踏まえて、比較しながら学習を深めていく教材が設定されている。 ○ 生徒が積極的に学び合うための活動例を「Active!」のページに示し、さらに学びが深まっていくように工夫されている。創作教材についても活動手順を分かりやすく示し、生徒が主体的に取り組めるように配慮されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭には著名な音楽家からのメッセージを掲載し、音楽家を職業として意識したり、伝統を尊重し未来へつなぐ意識を高めたりするように配慮されている。巻末には、共通事項である用語や記号がまとめてある。 ○ AB変型判の紙面で、簡潔な説明文、豊富な写真、イラストが効果的に用いられている。軽量で丈夫な紙質を使用することにより、持ち運びする際の生徒の身体的負担に配慮されている。 ○ 色の組み合わせや濃淡の工夫、罫線や記号・番号による記載内容の整理、ルビを振るなど、全ての生徒が見やすいように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校9年間で育成する資質・能力、領域・分野の相互のつながり、教材の関係性が明示され、各学年の目標や内容に相応した題材が系統性をもって組織されている。その題材を軸にして教材が配置されており、学習の見通しをもつことができる。 ○ 英語の歌詞で歌唱できる曲や道徳科の教材と関連している曲を掲載したり、器楽や鑑賞の学習において歴史的・地理的事象と関連する内容を紹介したりするなど、他教科の学習内容を併行して学ぶことができるように配慮されている。 ○ 二次元コード「まなびリンク」が用意されており、動画や音声、参考資料が生徒の使用する端末からインターネットを使って容易に閲覧できるようになっている。 | | |

種目名 音楽（一般）

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 27 教芸 | 教科書の記号・番号 | 音楽 027-72 027-83 027-84 |
| | 使用学年 | 第1学年 第2・3学年 | | |
| | 書名 | 中学生の音楽1、2・3上、2・3下 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「音楽によって生活を豊かにする心を育む」「音楽科の確かな学力を育む」「主体的・対話的で深い学びを促す」の三つを基本方針として編集されており、社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力や汎用性の高い学力などの資質・能力の育成をめざした内容となっている。 ○ 学習指導要領の内容及び楽曲の性格に即して、ねらいを明確化した教材が適切に配列されており、「学びの地図」で1年間の学習の見通しをもつことができるとともに、「音楽の学びを振り返ろう」のページにおいて各学年の重要な学習事項などを自ら振り返って確認することができる配列となっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 曲想と音楽の構造などとの関わりについての理解を促すキャラクターの吹き出しが随所に配置され、学習目標や学習活動との結び付きが分かりやすくなっている。また、指定のワークシートを活用し、自分の考えを整理しながら学習することができる。 ○ 「学びのコンパス」において、学習の手順を丁寧に示し、その中で「何を考えるのか」「何を工夫するのか」が明確に分かるようになっている。生徒同士や教師との対話を促すことで、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。 ○ 1年間の学習の見通しをもつことができる「学びの地図」や、1年間の学習を振り返ることができる「音楽を形づくっている要素」、「音楽の学びを振り返ろう」のページを設けることで、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭には各界の著名人や様々な音楽を捉えるメッセージが掲載され、生徒が自らの世界を広げる役割を果たしている。巻末は楽典事項や「音楽を形づくっている要素」の解説が充実しており、基礎的・基本的な内容の確認ができるように配慮されている。 ○ AB変型判の紙面で、楽譜や歌詞が見やすく、学習内容との関係が分かりやすく示されている。また、楽譜が読みやすくなるように黒色が光らないようなインクが使われている。 ○ 全体に区別しやすい配色を用いながら形状や濃度を工夫して、確実に識別できるように配慮されている。必要な情報に注目することができるようにシンプルなデザインが採用されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の学習内容との系統性が確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫ることができる。また、どの学年においても小学校の基礎的な学習内容を確認するページが用意され、繰り返し学習できるように工夫されている。 ○ 諸外国の原語を取り入れた教材、環境保護について考えることのできるコラム、道徳科との関連を図ることができる心の触れ合いをテーマとした歌唱教材などが掲載されている。創作の学習活動でプログラミング的思考を育成できるように配慮されている。 ○ 歌唱の模範演奏や、パート別や伴奏の音源、鑑賞の譜面などが、二次元コードで準備されており、個別最適な学びに対応している。知的財産権やSNS上の音楽利用についても掲載されている。 | | |

種目名 音楽（器楽合奏）

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 器楽 017-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学器楽 音楽のおくりもの | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽的な見方・考え方を働かせた学習や、楽器の音色や響きを生かした音楽文化と豊かに関わって学ぶことができる内容になっている。また、資質・能力を育むために精選された教材と、各楽器に適した学習の進め方を示すことで、主体的・協働的な学びを深められるように編集されている。 ○ 育成をめざす資質・能力を育むために、前段に基本的な演奏の仕方を習得できる「演奏の仕方を身につけよう」が設けられ、後段にそれを生かして合奏できる「合わせて演奏しよう」が設けられた構成となっており、これらの組み合わせにより、各学校の実態やカリキュラムに柔軟に対応できるように配慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊富な写真とキャラクター（イラスト）を用いた分かりやすい解説が掲載され、理解を支えている。また、「まなびリンク」の動画コンテンツで模範演奏を試聴することで、各楽器における正しく適切な奏法を確認することができる。 ○ 「演奏の仕方を身につけよう」では、見開きごとに「まとめの曲」を示し、様々な表現の工夫を学ぶことができるように配慮されている。楽器のカテゴリーごとに、音楽的な見方・考え方を働かせて整理するページが設定されている。 ○ 生徒が積極的に学び合うための活動「表現の仕方を調べてみよう」では、器楽表現や鑑賞を通じて学習した楽器の音の出る仕組みや旋律の特徴に着目し、「話し合おう」を活用して学びを深められるようになっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭には、3年間で演奏や鑑賞する楽器が見開きで示されている。巻末には、リコーダーの運指表や、ギターやキーボードのコード表が掲載されており、多様な情報を視覚的に分かりやすく得ることができるように工夫されている。 ○ AB変型判の紙面で、簡潔な説明文、豊富な写真、イラストが効果的に用いられている。軽量で丈夫な紙質の使用により、持ち運びする際の生徒の負担を軽減できるように配慮されている。 ○ 色の組み合わせや濃淡の工夫、罫線や記号・番号による記載内容の整理、ルビを振るなど、多くの生徒に見やすいように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年を通してリコーダーやギター、和楽器など幅広いジャンルの楽器について段階的に学習できるようになっている。小学校で身に付けたことや基礎的な内容の定着を図りながら、理解を深めたり技能を習得したりできるように配列が工夫されている。 ○ 我が国の楽器と諸外国の楽器について、楽器の背景にある文化や伝統、流通や貿易との関わり、材質との関わり、生活様式との関わりについて考える教材が示され、国際理解が深まるように配慮されている。 ○ 二次元コード「まなびリンク」が用意されており、動画や音声、参考資料が生徒の使用する端末からインターネットを使って容易に閲覧できるようになっている。 | | |

種目名 音楽（器楽合奏）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 27 教芸 | 教科書の記号・番号 | 器楽 027-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学生の器楽 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「様々な音楽文化に触れられるようにする」「音楽の幅広い知識や技能を獲得できるようにする」「主体的・対話的で深い学びを促す」の三つを基本方針とし、社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力や汎用性の高い学力などの資質・能力の育成をめざした内容となっている。 ○ 様々な楽器及び楽曲の特徴に合った効果的な選曲や配列がなされており、学習指導要領の内容及び楽曲の性格に即して、ねらいを明確化した教材が適切に配列されている。また、楽器の奏法などについては適切な文章とイラスト、写真を用いて解説されており、楽器の基礎的な技能の習得に配慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のコラムや「Q&A」、キャラクターの吹き出しが適切に配置され、学習目標や学習活動との結び付きが分かりやすくなっている。 ○ 知覚・感受したことを基に「思考、判断、表現」を行うためのヒントがキャラクターの吹き出しによって示されるほか、思考した内容を記述する場面が設定されており、実際に演奏して確かめることができる。 ○ 器楽の学習の見通しをもつことができる「学びの地図」を設けることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、生徒の多様な興味・関心を引き出し、好奇心に働きかけるような内容が取り上げられている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の打楽器奏者のコラムは、人と楽器と社会とのつながりについて考えることができる。巻末の資料では、同世代の中学生による和楽器の演奏写真が取り上げられており、和楽器を一層身近なものとして捉えることができるよう工夫されている。 ○ AB変型判の紙面で、左右にゆったりとしており、レイアウトも工夫され、統一感がある。写真や図版を多く使用し、楽曲と学習内容との関係が分かりやすくなるように工夫されている。 ○ 全体に区別しやすい配色を用いながら形状や濃度を工夫して、確実に識別できるよう配慮されている。また、必要な情報に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校における学習内容を踏まえながら無理なく行える学習活動が設定されるなど、小学校の学習内容との系統性がしっかりと確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫るように配慮されている。 ○ 世界各国の音楽やアンサンブル曲など、他者を尊重し、道徳的観点と関連付けられる教材が多く取り上げられている。また、プロの演奏家のメッセージなどを通して、音楽と職業との関連を意識できるように工夫されている。 ○ 二次元コードで楽器の様々な奏法を学習したり伴奏を付けたりすることができ、生徒が主体的・意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。 | | |

種目名 美術

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 9 開隆堂 | 教科書の記号・番号 | 美術 009-72 009-82 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 美術 1、美術 2・3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての生徒が造形的な見方・考え方を働かせながら、美術で育む資質・能力を伸ばすことができるようにすることを念頭に、編集されている。「確かな学力が身につく教科書」「生徒が主体的に学習できる教科書」「美術の学びを広げる教科書」が特色として示されている。 ○ 各題材4ページずつで構成されており、「導入→知識や技能の習得→発想や構想のサポート→振り返り」という授業の流れを意識して紙面に配置されている。各題材のページには、育てたい資質・能力を示す小見出しが設けてあり、「学習の目標」が分かりやすく示されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材の学習に必要な知識や技能が、図版や「美術の用語」で分かりやすく提示されている。また、各巻末の「学びの資料」に、題材横断的な知識や技能が系統的に整理して示され、様々な題材の学習に効率よく活用できるように構成されている。 ○ 掲載作品と併せて「作者のことば」やアイデアスケッチ等を掲載し、作品がどのような発想・構想の下に生まれたのかなどについて、生徒が興味・関心をもって学習することができるように配慮されている。 ○ 各巻頭には、美術を学ぶ意味や態度について考えるページが設定されている。巻末は、各学年の学習を振り返る内容であり、生徒自らが、美術科の学習を通じた成長を確認することができる構成になっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表紙に掲載される作品には、触って作品の質感を想像することができる特殊加工が施されており、教科書を使用する生徒が、美術の学習に一層興味・関心をもつように工夫されている。 ○ 美術1、美術2・3の2冊で構成され、A4ワイド判の紙面で大判資料が豊富である。折込みページや原寸大の図版により、細かい表現まで確認することができるように工夫されている。 ○ 教科書の内容が正確に伝わるようにUDフォントが採用されており、全てにルビが振られている。色覚の特性にも配慮し、識別しやすい配色や形状、イラストの配色や写真の配置などが工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 美術1の巻頭「図画工作から美術へ」では、美術科の学習全体を俯瞰し、見通しをもって学習に取り組むことができるように構成されている。美術科の学習の目的や意義の確認、教科書の使い方などの解説など、小学校との接続を意識した工夫も見られる。 ○ 他教科と関連して学習できる題材が豊富に設定され、カリキュラム・マネジメントの推進が図られるように工夫されている。また、特別活動とのつながりを意識した題材も設定されている。 ○ 各題材には二次元コードが掲載され、インターネットを通して、教科書に掲載された作品以外の参考作品例や技法、用具の使用方法の動画などを見ることができる。回転させて全方向から見ることができるものもあり、立体感覚を養う工夫がされている。 | | |

種目名 美術

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 38 光村 | 教科書の記号・番号 | 美術 038-72 038-73 038-82 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 美術 1、美術 1 資料、美術 2・3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ AI 技術やデジタル化が進み、変化の大きい時代だからこそ、自己表現の追求や新しい鑑賞体験をすることができるように編集されている。特色として、「技法等をまとめて創造力を刺激する別冊資料」「授業の流れや制作過程が見える紙面構成」「二次元コードを有効活用して見方が深まる新しい鑑賞」が挙げられる。 ○ 学習指導要領における指導事項を基に、題材の関連性や順序性を意識して分野ごとに配列している。各題材は、「鑑賞→表現→鑑賞」という流れで構成されており、表現と鑑賞を関連付けながら学習を進められるように工夫されている。生徒の作品や制作過程の図版が多数掲載されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全題材に、造形的な見方・考え方を働かせることを促す問いかけや着目すべき「POINT」が示されている。別冊資料には、共通事項や技能に関わる資料、制作過程の二次元コードが掲載され、生徒が知識及び技能を習得・活用しやすい構成になっている。 ○ 制作過程で試行錯誤する生徒の姿が、写真やつぶやき、アイデアスケッチ、「作者の言葉」等で示され、発想や構想を広げ深めていく方法について分かりやすく掲載されている。全題材に鑑賞の活動が設けられ、表現と鑑賞との往還が促されている。 ○ 各領域の導入題材や問いかけ文の設定により、生徒が主体的に学習に取り組み、感性や情操を育むことができるよう配慮されている。「みんなの工夫」に試行錯誤の過程が掲載され、生徒が粘り強く学習に取り組むことができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料等にみられる特徴 ○ 判型・分冊等にみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭及び巻末には、谷川俊太郎氏による文章等の特設題材を配置し、美術と生活や社会とのつながりや、美術を学ぶ意味を考えさせることで、以後の学習や人生において造形的な見方・考え方を働かせることができるように配慮されている。 ○ 「学びを支える資料」は、3年間持ち運び活用することを想定し、別冊化されている。日本絵画の鑑賞等については、観音開きページでの屏風の掲載、和紙風の用紙の使用がなされている。 ○ 生徒のつぶやきや小見出しに、UD フォントが採用されている。また、海外の生徒による作品を含む美術作品が掲載されるなど、多様な表現の作品が取り上げられている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 美術1では、小学校図画工作科との接続に配慮し、美術全体や領域ごとのオリエンテーションのページが設けられている。特に、中学校から始まるデザインや工芸の領域では、領域そのものへの理解が深められるように配慮されている。 ○ 特に他教科と関連のある題材には、特設コラムが掲載され、他教科での学びを意識して学習を進めることができる。また、道徳科との関連については、内容項目をページ下に記載するとともに、そのキーワードが示されている。 ○ 全題材に二次元コードを配置し、多くのコンテンツにアクセスできる。「みんなの工夫」では、生徒作品の作者インタビューを掲載し、思いに迫ることができるように工夫されている。 | | |

種目名 美術

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 116 日文 | 教科書の記号・番号 | 美術 116-72 116-83 116-84 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 美術1 美術との出会い、美術2・3上 学びの実感と深まり、 美術2・3下 学びの探求と未来 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「これからの時代を生き抜く資質・能力を養う美術の学び」「豊かな感性を育み想像する喜びを実感する美術の学び」「生活や社会に豊かに関わる美術の学び」が編集の方針となっている。また、「生徒が自ら学びたくなる教科書」「生活や社会につながる教科書」などが特色として挙げられる。 ○ 題材の配列については、3年間の発達を考慮するとともに、伝達デザインの題材を同一学年で複数設定するなど、学校の実情に合わせて選択することができるようになっている。また、各題材の授業の流れや、表現と鑑賞の一体化を意識した学習の流れが組み立てやすい構成となっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 共通事項を意識することができるように、題材のページに「造形的な視点」が明確に記述されている。また、技能については、「学びを支える資料」として各巻末にまとめられているとともに、二次元コードの動画で分かりやすく説明されている。 ○ 「表現のヒント」の設定、多数の生徒作品や作者の言葉、アイデアスケッチ、ワークシートの掲載など、発想や構想の手掛かりとなるような工夫がされている。第1学年の巻末資料では、発想や構想の手立てを示した内容が掲載されている。 ○ 全題材に、導入のための二次元コードが掲載され、動画等により生徒の興味・関心を高める工夫がされている。地域社会のデザインに目を向ける事例が掲載されており、生活への活用が意図されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表紙に作品が掲載され、巻頭資料と併せてオリエンテーションができるようになっている。目次は、学習内容が色分けされ、巻末資料は、画像等を用いて分かりやすくまとめられている。 ○ 美術1、美術2・3上、2・3下の3分冊で、全てA4ワイド判である。特に、鑑賞教材では、美しい図版とともに原寸大や拡大された図版、折って見ることのできる屏風図等が掲載されており、より実感をもって鑑賞ができるようになっている。 ○ 全頁を通して、白色を基調とし、より多くの生徒にとって見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、見やすく読み間違えにくいUDフォントが採用されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 美術1において、「ようこそ美術の学びへ」の特設ページが掲載されている。小学校図画工作科の学習を振り返り、中学校3年間の学びに見通しをもつことができるページとなっている。 ○ 各教科や総合的な学習の時間、学校行事等と関連できる題材や事例が記載されている。道徳教育との関連については、深く関連するページの紙面下部に、「道徳との関連」として、生徒に語りかけるような言葉が示されている。 ○ 全ての題材や巻末の資料等において二次元コードが掲載されており、授業時間に限らず、生徒一人ひとりの興味や関心に応じて学ぶことができるようになっている。ICTでの表現による題材も取り上げられ、幅広く、かつ詳しく掲載されている。 | | |

種目名 保健体育

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 保体 002-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新編 新しい保健体育 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するため、「誰一人取り残さない質の高い学びをデザイン」「つながる、広がる、深い学びを実現」「命や健康を守る確かなスキルの育成」を編集の基本方針の特色としている。 ○ 一つの見開きで1単位時間構成を基本とし、学習の流れを「見つける」「学習課題」「課題の解決（『発問』『本文・資料』『活用する』）」「広げる」の順で示している。学習の流れが明確に示されていることで、生徒が見通しをもって取り組むことができるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識は本文で簡潔にまとめられ、キーワードはゴシック体となっている。各章末には、章末問題のデジタルコンテンツが2種類用意されており、生徒が自主的に繰り返し知識の習得状況を確認することができるように配慮されている。 ○ 各単元の活動「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」は、それぞれの段階に応じて思考力、判断力、表現力等を育成することができるような発問が設定されている。また、「活用する」では、習得した知識・技能を活用して、より深く考える活動ができるように工夫されている。 ○ 各単元の「広げる」には、学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動が設けられており、さらなる学びへの意欲を喚起するように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭口絵では、SDGs、テクノロジー、情報の切り口から自分たちの生活とのつながりを考える資料が掲載されている。巻末には生涯にわたって役立つ「スキルブック」が新設されている。 ○ 環境や健康への配慮から、再生紙・植物油インクを使用している。また、用紙の軽量化に努め、身体的負担の軽減に配慮されている。 ○ 写真やイラストに登場する人物の人数や役割については、性別による比率や役割に偏りがないように配慮されている。また、成長の個人差や共生の視点を強調し、多様性や個人の価値の尊重に配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の扉では、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高等学校で学習することが明示され、小学校・中学校・高等学校を通じて系統性のある学習ができるよう配慮されている。 ○ 随所に「他教科マーク」が設けられており、他教科の学習内容との関連を簡潔に示し、教科相互の関連を図り、系統的、発展的な学習を行うことができるように工夫されている。 ○ 学習内容に関連する動画やシミュレーションなど、学習効果・効率の向上や、実感を伴った理解などを目的としたデジタルコンテンツが豊富に掲載されている。また、学習内容に沿った思考ツールをデジタルコンテンツとして搭載するなどの工夫が図られている。 | | |

種目名 保健体育

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|--------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 4 大日本 | 教科書の記号・番号 | 保体 702 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学校保健体育 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識を活用する力や知識を生かして物事を解決する力が問われる時代において、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために、主体的・対話的な学びを通して学習したことを生活に生かす「生きた学び」をめざし、編集されている。 ○ 教科書の見開きには、学習の手順が分かるように、学習のねらいを基に「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」などの学習活動が配置されている。活動に取り組みながら学習を進めることによって、生徒が課題を解決しながら、学びを深めることができるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各小単元の本文で、基礎的・基本的な学習内容を分かりやすい言葉で明示し、学習すべき内容の確実な習得が図れるように配慮されている。また、章末では、「キーワード」での振り返りを行うことで、重要語句や要点の再確認ができるようになっている。 ○ 各小単元の、課題を発見する活動「つかもう」、課題を解決する活動「やってみよう」「調べてみよう」、学習したことを生かす活動「活用して深めよう」など様々な活動により、思考力、判断力、表現力等について、総合的に育成されるように配慮されている。 ○ 導入の活動「つかもう」では、生徒に身近な題材や自分の生活について取り上げており、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるように配慮されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ イラストや写真は、生徒の学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりするようなものが厳選されている。また、グラフや表は、正確性に万全を期するとともに、生徒が視覚的に捉えやすいように工夫されている。 ○ 表紙は丈夫で汚れにくい加工を施し、生徒にとって安全な綴じ方で製本してある。環境にも配慮した紙と植物性インクが使用されている。 ○ LGBT や SOGI について触れ、イラストにも背景の異なる生徒が描かれていたり、男女の人数の比率に偏りがないようにしたりするなど、配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中高の学習内容の円滑な接続のために、各章扉では、小学校や高等学校の関連する学習内容を示し、小学校、中学校、高等学校を通じた系統性のある学習となるように工夫されている。 ○ 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成が図れるように、他教科に関連した題材を適宜扱うとともに、他教科に関連していることが一目で分かるように「リンク」マークを付け、教科や単元名が記載されている。 ○ 学習支援のための新たなコンテンツ集である「中学校保健体育 WEB プラス」には、シミュレーション、動画、外部リンクなどが用意されており、最新の情報を使って学習が進められるようになっている。 | | |

種目名 保健体育

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 50 大修館 | 教科書の記号・番号 | 保体 050-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 最新 中学校保健体育 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うなど、三つの資質・能力をバランスよく身に付けることに重点を置いている。また、社会の様々な変化を的確に捉え、向き合うために、今日的な課題を多く取り上げるとともに、共生社会や多様性も重視された編集となっている。 ○ 全ての学習項目が見開き2ページで1単位時間の構成で、見通しをもって学習できる分量となっている。また、学習の流れが「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の三つの構成で示されており、見通しを立て、主体的に学習が進められるようになっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 確実な習得を図るようにするために、学習課題を「きょうの学習」に明示し、重要な語句をキーワードとして太字で示すなどの工夫がされている。また、本文を補足し、理解を助けるための適切な資料が豊富に掲載されている。 ○ 「課題をつかむ」では多様な導入活動を提示し、学習課題につながる気付きや思考を促すことができるように工夫されている。また、「章のまとめ」では、学習したことを基に筋道を立てて説明する表現活動が設定されている。 ○ 中学生の日常生活に関わりのある写真等を随所に配置し、生徒が抱く疑問を掲げ、学習課題を自分のこととして捉えられるように配慮されている。また、学んだことを社会や生活に広げたり、深めたりすることができるように特集資料にまとめられている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 見通しをもって学習に取り組むことができるように、学習の流れや学び方を説明するページが設けられ、口絵には、共生社会や多様性に関連するテーマが取り上げられている。 ○ 植物油インクや再生紙を使用しており、アレルギーや環境にも配慮されている。軽量で丈夫な用紙を採用し、製本は開きやすい綴じ方になっている。 ○ 写真やイラストの登場人物は、男女の役割を固定したり、背景の違いや障害の有無などに基づく差別や偏見につながったりすることのないように編集されている。また、多様性や個人差に関する題材が取り上げられている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての章扉に、小学校で学習したこと、この章で学習すること、高等学校で学習することが明示され、系統性を意識した学習ができるように配慮されている。 ○ 他教科と関連する内容がある場合には、「他教科マーク」が設けられており、教科等横断的な視点で学習が進められるように配慮されている。 ○ デジタル教材を効果的に活用できるように「デジタル教材の使い方」を解説するページが設けられている。また、「動画コンテンツ」「Web 保体情報館」「Web ワークシート」「保体クイズにトライ！」などのデジタル教材が豊富に用意され、二次元コードから簡単に閲覧できるようになっている。 | | |

種目名 保健体育

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 224 学研 | 教科書の記号・番号 | 保体 224-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新・中学保健体育 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動・スポーツや健康への関心が高まり、生徒が主体的に学んでいくことで、保健体育科の目標を実現するための資質・能力の育成をめざしている。また、課題解決的な学習と協働的な学習により、生徒一人ひとりのウェルビーイングに向かう力の育成を重視し、編集されている。 ○ 見開きの2ページが1単位時間の内容となるように構成されている。「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」の一連の流れに沿い、学習が進められるように工夫されている。また、学習指導要領の配列に基づき、学年別で構成し体育理論から保健への配列になっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各項目の始めに「学習の課題」と「キーワード」を設け、その時間で身に付ける学習内容を明示している。また、「学びを生かす」では、その時間で学んだ知識をまとめたり、深めたり、活用したりできるように工夫されている。 ○ 学習内容に応じて、正解が一つに定まらないような課題が随所に設けられている。また、生徒に意欲的な話し合いを促すことを通じて、思考力、判断力、表現力等を育成できるように工夫されている。 ○ 教え合い、学び合う学習活動には、「協働」のマークが示され、主体的・対話的かつ協働的に活動する学習活動が生まれるように工夫されている。また、「とりくめーター」を見返すことで、主体的な学びの循環を促すことができるようになっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で「さまざまな学習方法」を設け、学習内容や課題に応じて、工夫しながら学習が進められるように、事例とともに多様な学習方法が紹介されている。 ○ 判型は AB 判を採用し、視覚的にゆったりとした紙面になっている。また、環境に配慮して作成された用紙と植物油インクが使用されている。 ○ イラストについては、登場する人物の男女の比率や役割、背景などに偏りが無いよう配慮されている。また、発育・発達の学習に関連し、LGBTQ+についてや、発育や発達には個人差があることなどに配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の冒頭には、「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」が記載されており、系統性を重視した内容が構成されている。 ○ 巻末に、学習内容が八つのキーワードで整理され、他教科等の知識や情報に関連する学習内容へのガイドとして、「関連」を設け、教科等横断的な学習の一助として工夫されている。 ○ 二次元コードからアクセスして、各章の内容に関連するデジタルコンテンツを活用できる「章デジ」が設けられている。情報活用能力を育成するための基礎的な視点で、生徒が自ら判断して組み合わせながら、より広く、深く学ぶことができるように工夫されている。 | | |

種目名 技術・家庭（技術分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 技術 002-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的に問題解決に取り組み、生涯にわたって技術を工夫し、創造し続けられる資質・能力の育成をめざして、「技術による問題解決に主体的に取り組むことができる教科書」「技術分野の『新しい学び』につながる教科書」「技術分野の学習の意義や大切さが伝わる豊かで楽しい教科書」を基本方針として編集されている。 ○ 学習が系統的に進められるように、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述されている。また、随所に具体的な学習活動を示し、主体的に問題解決的な学習が進められるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みは、本文の内容を裏付ける図等により、科学的な根拠に基づく知識が習得できるように工夫されている。問題解決に必要な技能は、「TECH Lab」等にまとめ、課題に応じて適切に選択できるように工夫されている。 ○ 「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価、改善・修正」の流れが統一的に示されている。また、各編の最終章には、生徒が、技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりするためのワークシートが掲載されている。 ○ 社会課題に取り組む技術を「すごいぞ！技術」、技術に携わる人が「技術の匠」として掲載されており、学習への興味・関心が高まるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、折り込みで「技術のめがね」と「最適化の窓」を設け、3年間を通して繰り返し活用することで、持続可能な社会の実現のための技術の活用について考えられるように工夫されている。 ○ 大判の紙面を有効に使い、資質・能力の育成や主体的・対話的で深い学び等、につながる内容になっており、見やすい紙面が実現されている。 ○ インクルーシブ教育の充実をめざし、全ての生徒にとって認識がしやすいように、文字をUDフォントとし、図版の配置を工夫するなどの配慮がされている。写真やイラストに登場する男女の比率や役割に偏りがないように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「リンク」「小学校」マークを付して、他学年との連携を高めている。また、教科関連を示す「Dマーク」は、他教科や小学校の関連する内容の教科書紙面を確認することができるように工夫されている。 ○ 他教科と関連する内容が、「教科名」「関係学年」「単元名」で表記されており、他教科とのつながりが明示されている。SDGsに関する内容や技術の現場に携わる人の思いを紹介する等、持続可能な社会の構築に向けた、技術の役割が示されている。 ○ 全ての見開きに二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツの数が豊富にあることで、生徒が興味・関心をもった内容をさらに深められるように工夫されている。 | | |

種目名 技術・家庭（技術分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 6 教図 | 教科書の記号・番号 | 技術 006-73 006-74 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「技術の学びを創造する」をテーマに、技術分野の学びによって、時代の変化に、柔軟に対応できる力を育成することをめざし、「興味・関心を高め、技術の見方・考え方を働かせることができる」「技術による問題解決に主体的に取り組むことができる」「社会の問題を自ら考え、解決に取り組む力を育成する」ことを基本方針として編集されている。 ○ 学習指導要領の目標に対応した、系統的な配列になっている。いずれの編も同じ流れで、実習教材に取り組みながら、技術分野の見方・考え方を働かせるような学び方を意識した構成になっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見つける・学ぶ・ふり返る」を基本配列とし、「見つける」で学習意欲が喚起され、「学ぶ」で自主的に学習し、「ふり返る」で学習理解の確認ができるように工夫されている。別冊等により、技能を身に付けることができるように工夫されている。 ○ 技術による問題解決の流れを四つのステップで、丁寧に説明することにより、生徒自らが問題解決に取り組むことができるように工夫されている。また、各編の最終章にある「社会の発展と技術」では、自ら考え判断できる内容になるように工夫されている。 ○ 積極的に学習を進められるように、「もっと知ろう」や「先輩に聞いてみよう」のコラムが設けられている。「スゴ技」や「技ビト」のコラムによって、生活や社会の中で使用される技術について興味・関心がもてるように配慮されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な技術を取り上げ、中学校で初めて学ぶ技術への興味・関心を高め、主体的で対話的な学習ができるように工夫されている。巻末の「博物館に行ってみよう！」で、見学レポートに取り組み、生活の中から技術を発見できるように工夫されている。 ○ 見やすく理解しやすい紙面の実現と、机上のスペースの確保のために AB 判縦長変形で構成されている。また、別冊「スキルアシスト」では、技能を自己評価できるように工夫されている。 ○ 写真やイラスト等に登場する男女の比率や役割に偏りがないようにしている。また、UDフォントを使用し、多くの生徒にとって読みやすくなるように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が技術に興味・関心をもって学習に取り組めるように、小学校の教科や学習の様子の写真を用いる等の工夫をして関連付けることで、ガイダンスの時間が充実するよう配慮されている。 ○ 「リンクマーク」により他教科での学習内容との関連を示している。また、SDGs に関する内容や技術に携わる人の思いを紹介する等、持続可能な社会の構築に向けた、技術の役割が示されている。 ○ 二次元コードの横には、デジタルコンテンツの題名が表記されており、コンテンツの動画や資料等の内容が分かることで、生徒が興味・関心を高め、学習の理解が深められるように工夫されている。 | | |

種目名 技術・家庭（技術分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 9 開隆堂 | 教科書の記号・番号 | 技術 009-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わかる」「気づく」「使える」「興味がもてる」を観点として、誰もが学びやすい教科書になるように「科学的な根拠をもとにした技術の理解・習得」「問題解決的学習を通じた活動」「家族や友人、地域などのかかわり」「技術に関する職業の理解」「技術と社会・環境とのかかわりの理解」「日本の伝統と文化の理解」を基本方針として編集されている。 ○ 各内容は、「導入」「基礎学習」「展開」「まとめ・評価」の順で構成され、各段階とも生徒の興味・関心・意欲を高めながら、問題解決的な学習が無理なく展開でき、系統的な学習が進められるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各内容で共通して、社会における技術に気付き、基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、社会や環境と技術との関わりについて理解を深められるように工夫されている。また、工具の使い方や実習例が分かりやすく掲載されており、基本的な技能を習得できるように工夫されている。 ○ 各学習項目では、学習課題を設けて生徒に問題意識をもたせ、「CHECK」で振り返ることで、自ら解決しようとする態度を育てるように組織されている。また、問題解決の流れを共通化することにより、問題解決能力が高まるように工夫されている。 ○ 各内容の最後では、社会や環境と技術との関わりについての理解に基づき、技術の在り方などを客観的に判断・評価し、主体的に活用しようとする態度が育まれるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、親しみやすいアニメキャラクターを用いたり、ガイドンスで問題解決の流れを漫画形式で分かりやすく示したりしている。また、技術に関する職業を取り上げ、勤労観を養えるように工夫されている。 ○ 用紙は薄くて丈夫なうえ、軽量化された用紙が使用されており、生徒の負担にも配慮されている。製本は強固に接着がされている。 ○ UD フォントを全面的に使用したり、単語の途中で改行しないように調節したりすることで、多くの生徒に読みやすい文章となるように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各内容の扉に、小学校との関連について、学年、教科、単元との連携内容が分かるようにまとめられている。また、「小学校」のアイコン・マークがあり、適切な場面で小学校との連携が図れるように工夫されている。 ○ 他教科とのつながりが各内容の扉ページに示されている。関連箇所にはマークが示され、教科等横断的に学習が進められるように配慮されている。 ○ 巻頭の資料に、「デジタルシティズンシップ」に関連する内容を取り上げている。情報社会に生きる生徒が適切に情報に関わり、授業や生活において積極的に活用していく態度を育成できるように配慮されている。 | | |

種目名 技術・家庭（家庭分野）

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 家庭 002-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の中から課題を見付けて、解決していくプロセスを繰り返すことで、生活をよりよくできるよう配慮されている。各節は「目標」から「まとめ」の流れで統一し、生徒を学習課題に導く「レッツスタート」を設け、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるように工夫され、授業の流れが見えやすくなっている。 ○ 小学校と高等学校との系統性を踏まえて節を配列しており、自立から共生に向かうように「A家族・家庭生活」が最初と最後に配列されている。また各章、各節の内容は、基礎・基本から応用・発展へと学習が系統的に進められるように記述されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 実習や生活での実践に必要な基本的な技能については、「いつも確かめよう」のページで振り返り、確認がしやすいように工夫されている。また、科学的な理論に基づく知識が習得できるように、内容を裏付ける実験などの資料が取り上げられている。 ○ 基本ページの「まとめの活動」や各編末の「学習のまとめ」には、「生活に生かそう」が設けられ、生徒が学習したことを自分自身の生活に生かせるように工夫されている。また、思考ツールを用いて学習できるような「活動例」が随所に掲載されている。 ○ 豊富な写真やイラスト、漫画などを用いて、生徒が興味・関心をもって学習を深められるように工夫されている。また、キャラクターが課題につながるヒントを示し、主体的に課題解決しようとする意欲を高められるようになっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の学習を振り返り、中学校3年間の見通しをもたせることをねらいとし、巻頭のガイダンスを含んだ「1編 未来につながる家庭分野」が設けられている。 ○ AB判の大判の紙面を生かし、実物大写真を用いて生徒の興味・関心を引くように工夫されている。軽量の紙を使用しているが、折り込みのページは紙質が厚く、丈夫な仕様となっている。 ○ 様々な家族形態を示し、共生や男女の協力の大切さを重視した写真やイラストを示すように工夫されている。「包丁の使い方」や「手縫い」では、左利き対応の資料を掲載するなどの配慮が見られる。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各編の導入で「小学校家庭科で学んだこと」を設け、既習内容をチェック形式で示している。小学校との関連を示す「リンクマーク」が付いているものは、二次元コードで小学校の教科書紙面を確認することができるように工夫されている。 ○ 他教科等との関連を示す「リンクマーク」が付いているものは、二次元コードで、他教科の教科書紙面を確認ことができ、教科等横断的な学力の定着を図れるように工夫されている。 ○ 二次元コードは全てのページにあり、個別最適な学び、協働的な学びの実現に向けて、デジタルコンテンツの数が豊富にある。思考ツールを活用したデジタルコンテンツ等、主体的・対話的で深い学びにつながるようになっている。 | | |

種目名 技術・家庭（家庭分野）

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 6 教図 | 教科書の記号・番号 | 家庭 006-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「つなぐ、つながる」をテーマに、小学校の学びから日々の生活改善、未来の学びへのつながり、家族や地域、社会、世界、地球環境とのつながりを意識し、世代や立場、背景の異なる人とのつながりを通じて、時代の変化に柔軟に対応できる力を育成することを目標に編集されている。 ○ 各学習は「見つめる」の導入から始まり、「めあて」に対応した振り返りを行い、全ての学習内容が課題解決学習の流れで構成されている。また、「学習のふり返し」では、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点で自己評価できるように構成されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 体験・実践的な学びを通じて、実感を伴った知識・技能が身に付くように、豊富な実習題材を掲載したり、疑似体験ができる動画を掲載したり、体験的な学びをサポートするための二次元コードによるワークが用意されたりしている。 ○ 身近な生活の課題を自主的に捉えられるように、「学びを生かそう」のページを設けるなど、ステップに沿った具体的な実践を通して思考力、判断力、表現力等の解決する力の育成を図れるように工夫されている。 ○ 各章のとびらページに、「自立度チェック」を設け、学習前に自分の状況をチェックし、学習後と比較することで学習効果を実感できるように工夫されている。家庭科の学びを通して、達成感を味わい、自己肯定感が高まるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で、日本の伝統的な年中行事を行事食などとともに紹介し、郷土を愛する態度を養うように工夫されている。ガイダンスでは、これから学ぶ内容について具体的なイメージを掲載し、学ぶ意欲につながる構成になっている。 ○ 写真や図などの資料が大きく見え、机上での開きやすさと強度を兼ね備えたAB変型判で、紙は生徒が紙面上に書き込みをしても裏写りしないように工夫されている。 ○ 性別、年齢、障害の有無等にかかわらず、協力・協働していくことができるよう、イラストや写真、本文に配慮が見られる。ルビも大きく読みやすく工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ガイダンスで、小学校までの学習や成長を振り返りながら、中学校3年間での学習が見通せるように配慮されている。また、各編でも小学校の学習内容を振り返るための一言や資料が多く掲載され、中学校での学習へのつながりが工夫されている。 ○ カリキュラム・マネジメントに役立つように「関連マーク」が示しており、幅広い知識と教養が身に付くように配慮されている。 ○ 学習の効率化に役立つように、二次元コードの側に説明が記載されている。動画の他に、主体的に学べるワークや学習の振り返りシート、記録レポート用紙などのデジタルコンテンツが掲載されている。 | | |

種目名 技術・家庭（家庭分野）

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|-----------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 9 開隆堂 | 教科書の記号・番号 | 家庭 009-72 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ クラスメイトや家族、幼児、高齢者、障害のある人、背景の異なる人たち等、様々な立場の人との関わりをイラストや写真で随所に掲載している。多様な自立と共生の姿を尊重することで、家族・家庭を核として、地域と社会と関わりながら、命と暮らしを大切にすること、それらを通して持続可能な未来へつなぐことを学べるように編集されている。 ○ 学習指導要領の内容ABCを関連付けて学習できるように工夫された構成で、空間軸と時間軸の視点が分かりやすく記述されている。各内容は、学習の目標、導入課題、本文と展開し、最終章での「学習のまとめ」で自己評価するように構成されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「Q&A」で、衣食住の生活における生徒が抱く「なぜ」から、科学的・理論的に知識・技能を身に付けることができるように工夫されている。また、実際に見えない事象も、視覚化することで理解が深まるようになっている。 ○ 授業の始めに疑問を書き出す活動や「話し合ってみよう」などの課題に取り組むことで、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるように工夫されている。「学習のまとめ」等では、記述問題を含む振り返りの問題が設定され、自らの考えをまとめ、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。 ○ 全体を通して、学習の案内役である4人の中学生が登場し、現実の等身大の中学生と重ねながら、「自分事」として興味・関心をもって学習を進めることができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で興味・関心を高める写真を用いて、小学校の学習を振り返り、小学校や他教科の関連に気付かせ、3年間の学習の見通しがもてるように視覚的に工夫されている。 ○ 表紙は水に強い加工が施され、長期の使用に耐えられるものとなっており、環境に配慮した再生紙や植物性インクを使用することで環境への配慮がされている。 ○ 図やグラフの輪郭や配色など、多くの生徒に読み取りやすい配慮がされている。男女の区別や障害の有無にかかわらず、子どもから高齢者まで全ての人が平等な関係であることを前提にして、記述内容や課題の設定、写真、図が工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の学習と関連する項目には「小学校との関連マーク」を設け、既習事項を振り返ることができるように工夫されており、中学校の学習に生かせるようになっている。高等学校に関連が深い内容は「発展」として扱われている。 ○ 道徳科や他の教科、技術分野と関連するページには「他教科・他分野との関連マーク」が付けられ、他教科等で学習する具体的な事項が示されている。 ○ 二次元コードは動画が豊富にあり、中でも衣・食生活の実習・製作に関するデジタルコンテンツが多くなっている。各編の学習のまとめとして、自己評価チェックシートがダウンロードできるようになっている。 | | |

種目名 英語

| | | | | |
|-----------------------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 英語 002-72 002-82 002-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | NEW HORIZON English Course 1、2、3 | | |
| 1 編集 の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 言語材料の知識と技能を基に、思考し、判断したことを適切に表現することができるように、段階的な活動が用意されている。また、目的・場面・状況に応じて英語で意思や情報を伝え合う活動や、話されたり書かれたりしたことの意図や背景を推測して表現するようなコミュニケーション活動が充実している。 ○ 1 ページあたり 1 単位時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成になっている。また、各 Unit の Part 構成が同じであり、学習の流れが生徒にとって見通しをもちやすいものになっているため、全学年を通して、既習事項を繰り返して学習できる構成になっている。 | | |
| 2 学習 指導要領 との 関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 語彙・言語を、各学年のテーマに基づいて、難易度の低いものから徐々に高いものへと系統的に繰り返して練習できる。また、4 技能を適宜統合・総合する活動をそれぞれの Part で繰り返す行うことで確実な定着が図られるように工夫されている。 ○ いずれの単元でも、言語を使用する目的・場面・状況を意識して活動に取り組めるような仕組みになっている。また、「単元を貫く問い」やラウンドリーディングの表現活動等において、思考力、判断力、表現力等の育成が図られるように工夫されている。 ○ 各学年の教科書冒頭に設けられた「学び方コーナー」では、英語学習のポイントやコツが系統的に取り上げられている。また、二次元コードからは解説動画を見ることができ、生涯英語を学ぶ主体的に学習に取り組む態度の育成に配慮されている。 | | |
| 3 使用 上の 便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭では「学年のテーマ」「教科書の構成と学習の流れ」が明示され、見通しをもって学習を進めることができる。また、巻末には動画付きで繰り返し練習できる Small Talk があり、場面に合わせて対話する力を身に付けることができるようになっている。 ○ A4 判で視覚資料を大きく掲載し、手書きで書き込むスペースが確保されている。また、指導時間を配当するページは増やさずに、生徒が発信するためのヒントを探し出す資料が多くある。 ○ カラーユニバーサルデザインの観点から配色およびデザインに配慮するとともに、デザインや配置を統一し、安心して学習に取り組めるようになっている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第 1 学年前半の単元が小学校の学習内容の接続期間として設定されている。第 3 学年では、高等学校の学習の接続のため、段階的にリーディングの語数が増え、発達の段階に合わせた課題が設定されている。 ○ CLIL（内容言語統合型学習）への対応として、他教科での学習を生かすもの、現代的な諸課題に対応するものを扱っている。また、平和や国際理解・国際貢献の視点から、多様な国々を取り上げ、道徳教育との関連が図られている。 ○ 紙面上の二次元コードからアクセスできる数多くの映像や音声などを学校や家庭での学習で活用でき、文法を学べる Key Sentences 解説動画なども用意されている。 | | |

種目名 英語

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 9 開隆堂 | 教科書の記号・番号 | 英語 009-72 009-82 009-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | Sunshine English Course 1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領を踏まえて、1 単元の中に聞く・読む・話す・書く活動が配置されており、5 領域について総合的に学習ができるよう配慮されている。身近な場面からは社会生活で活用できる知識と教養が、社会問題や異文化に関する話題からは視野を広げ、他者にも心配りのできる態度が育成されるようになっている。 ○ 言語材料は基礎・基本事項が精選され、4 技能5 領域の活動を通じて身に付けられるように工夫されている。「Our Project」では、学年が上がるにつれ身近な話題から社会的な話題に移っていくことに加え、活動内容も徐々に難易度が上がり、生徒の発達段階に応じた学習ができるよう配慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の「Scenes」では、新出表現に関する知識・技能を習得・活用できる構成になっている。理解を深めるための活動は達成感が得られるような難易度に設定されている。 ○ 「Review & Retell」では、内容を整理して自分の言葉で話すことが求められている。単元末の「Action」では、題材に関連したテーマで行う自己表現活動が設けられており、いずれも思考力、判断力、表現力等が無理なく育まれるように工夫されている。 ○ 「Our Project」では、発表後に自身の振り返りができるように設定されているため、主体的に次の活動に向かう態度を養うことができるようになっている。また、他国の生活や文化を尊重しながらも、自国文化のよい点をもって国際社会の平和と発展に貢献しようとする意欲を養える題材が取り上げられている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻末に設けられた「英語のつづり字と発音」は、教科書で学んだ単語について、生徒が自分でつづり字と発音の関係に気づき、さらに単語を補充できるように工夫されている。 ○ 判型はA 4判を採用することで、生徒の深い理解を補助するイラストや写真などを豊富に掲載しても、ゆとりのある紙面となっている。 ○ デザインや配色、配置が全学年で統一されているため、課やコーナーを検索しやすく、学習上の便宜が図られている。また、多くの生徒の学ぶ機会を保障するために、文字や情報の読み取りやすさに配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1 学年の学習に入る前の「Get Ready 1 ~ 6」で、小学校英語を振り返る活動が設けられている。ここではインタビューゲームや英語すごろくを通して、これまで学んできた英語表現を想起できるような構成になっている。 ○ 他教科との横断的な指導がしやすい題材が多く取り上げられている。日本食などの身近なテーマから社会問題、平和や国際貢献に関する話題まで、そのテーマは多岐にわたっている。 ○ 紙面上部の二次元コードを通じて、タブレット端末等で内容を読み込むことができ、学校や家庭における自学自習の大きな助けになっている。本文読み上げ機能等、生徒の多様なニーズに応じて学習者支援機能をカスタマイズできるようになっている。 | | |

種目名 英語

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 15 三省堂 | 教科書の記号・番号 | 英語 015-72 015-82 015-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | NEW CROWN English Series 1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語教育を通して確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と豊かな人間性を育成することをめざしている。そこで、「ことばを使う力」「考える力」「人や文化などとかかわる力」「学びに向かう力」の四つの力の育成を基として構成されている。 ○ 各レッスンの最後に、ゴールとなるコミュニケーション活動が設定され、言語材料と言語活動がバランスよく配置されている。また、学期に1回ずつ設定されたProjectを通して、複数の技能を活用した活動に取り組み、総合的な力が身に付けられるようになっている。学年を通して、一定の流れで学ぶことができる構成となっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や場面、状況に応じて、生きて働く知識及び技能を確実に向上させるように、練習活動では、繰り返し学習できるような構成となっている。 ○ コミュニケーション活動では、目的・場面・状況を意識しながら、深い学びにつながる課題を設定し、生徒が主体的に考えや気持ちを表現できるように工夫されている。また、相手意識をもちながら、ペアワークやグループワークに取り組み、対話的に学び合えるような活動が設定されている。 ○ コミュニケーション活動の終わりに取組を振り返ることで、主体的に学びに関わり、自らの学びを調整する力を育むことができるようになっている。5領域の様々なコミュニケーション活動を通して、言葉を使う力を育むことができるようになっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭には、ガイダンス、学習への動機付けに関するメッセージや写真が紹介されている。巻末には、コミュニケーション活動で利用できる語彙の補充やリスニングの音声スクリプトなど、本編と関連のある活用度、資料性の高いものが収録されている。 ○ A4判で、イラストや写真が大きく、豊富に使われている。環境にやさしい用紙や植物油インクを使用し、環境保護等に配慮されている。 ○ カラーユニバーサルデザイン、UDフォントが使用されている。また、各項目の配置が共通しており、学習しやすい配慮がなされている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の冒頭では、Starterにおいて、小学校で学んだ語句や表現、単語や文の書き方等が示されている。第3学年最後では、「これからの外国語学習」において、高等学校へのつながりを意識した内容が設定されている。 ○ 社会科、理科などに関連する題材や歌などを掲載することで、内容言語統合型学習やESDの考え方に基づく学習に発展させることができるように工夫されている。 ○ 文法事項を学んだり、勉強の仕方を学んだりできるように、二次元コードがほぼ全てのページに掲載されている。また、二次元コードからは、英和辞典、本文のアニメーション、題材の資料映像、発音図鑑等、豊富なコンテンツにアクセスできる。 | | |

種目名 英語

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 英語 017-72 017-82 017-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | ONE WORLD English Course 1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びのチカラで人と社会を未来へつなぐ」をテーマに、英語を楽しく主体的に学ぶこと、物事について深く考えること、自分の考えを伝え合うことをめざして、様々な活動が工夫され、構成されている。 ○ 単元冒頭に「単元の目標」を示し、Lesson 末の Task での活動に向かって見通しを立てて進めていけるように、内容が選択・配列されている。Lesson 間には5領域に関わる様々な Tips や Useful Expression、Grammar の他、既習言語材料の定着を図る Activities Plus、総合的な活動を行う Project も併せて、基礎から実践的な活動までバランスよく学べる構成となっている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文に登場した重要な文構造や文法事項の例を示し、単元末で丁寧な解説とともに整理されている。語彙は、本文中及びTool Kit、Taskページで登場した新出語を示し、「発信語」は太字で、「小学校の発信語」とともに併記されている。 ○ 実際のコミュニケーションにおける言語材料の意味や適切な使用場面が体験的に理解できるようになっており、生徒の思考力、判断力、表現力等の育成に資するように配慮された構成となっている。 ○ 主体的な学びを促進し、対話的な学びへ導くため、生徒の興味・関心や経験等が発信できるような題材が設定されている。また、対話的な活動や協働して問題解決に当たる活動が多く盛り込まれている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭では学ぶことへの動機付けや英語学習のポイント等、目次では単元ごとに学習する言語材料やSDGsマークを付けた内容、巻末ではWord Listの他、年間の振り返りとしてCan-Doリストを配置し、生徒の動機付けにつながるような工夫がなされている。 ○ 各学年AB判、網代綴じで、本を開きやすい工夫がなされている。また、活動用ワークシート等も準備されており、言語活動が行いやすいように配慮されている。 ○ 多くの生徒にとって分かりやすい配色が施され、手書き文字に近く、判読しやすいフォントを開発し、発達の段階に応じた書体に変化させている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校で培った素地を生かしながら学習できるように、やさしい英語を聞く活動、「読むこと」の基礎となるアルファベットの学習を、丁寧に段階を踏んで行う工夫がなされている。 ○ 国語科、社会科、理科、道徳科等、他教科とつながりがある題材が多く取り上げられている。教科横断的な学びをするために、教科と関連する一覧を確認することができるような配慮もされている。 ○ 教科書に掲載された二次元コードからアクセスできる「まなびリンク」では、音声や映像、リンク集などが豊富に用意され、いつでもどこでも繰り返して英語に触れる配慮がなされ、個別最適な学びに生かすことができるように工夫されている。 | | |

種目名 英語

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 38 光村 | 教科書の記号・番号 | 英語 038-72 038-82 038-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | Here We Go! ENGLISH COURSE 1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人ひとりが英語の力を伸ばしていく喜びを実感できるように、「くり返し触れ、活用することのできる単元構造」「生徒自らが学び方を工夫・改善するためのガイドの充実」「生徒が自分事として考えることのできる現代社会の課題を教材として設定すること」を三つの特色として編集されている。 ○ 3年間の見通しをもって学習を進められるように、各学年・学期・教材の目標を構造化して明確にし、学習者自身の成長が実感できるように工夫されている。また、Unit 本文は3年間の生徒の生活を想定し、生徒が実体験をもとに共感できるように配慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit の各 Part の本文で学習すべき言語材料を提示して4技能それぞれで活用できるようになっており、活動の一貫性が考慮されている。また、Unit の基本文のコーナーや Active Grammar で文構造や文法等の知識を整理し、活用できるようになっている。 ○ 各 Unit の Goal や You Can Do It! では、理解したことを表現につなげる言語活動ができるように工夫されている。目的・場面・状況に応じた思考・判断・表現ができるように活動が設定され、アイコンが付記されている。 ○ 学年全体の目標や各教材の目標を明示し、各 Unit 最後の「ふり返り」や、領域別の到達目標等を明確に示した CAN-DO リストで、生徒が自主的・自律的に学習を進めることができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で、英語学習における ICT 機器の効果的な活用方法が紹介されている。巻末に英語の学び方ガイドを設けて、4技能5領域の学び方や言語活動への取り組み方が提示されている。 ○ 紙面を視覚的に大きく見せることができる横幅の広い AB 判が採用されている。帯教材では、両開きの製本や短い寸法の用紙を使い、学習しやすいように工夫されている。 ○ 色覚の特性の観点から、ユニバーサルデザインの観点に立って編集されている。文構造や文型の整理にあたり、主語と動詞の囲みを、色だけでなく形でも識別することができるように配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年巻頭の導入教材では、小学校の既習事項を繰り返し学習できるように配慮されている。また、第3学年の学び方ガイドでは、将来に向けた学び方を提示し、長期的な目標をもちながら継続的に英語学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ SDGs に関連する題材を豊富に扱っている。また、学校の教育活動や目標との連携が図れるように構成が工夫されている他、教科横断的な観点から、他教科との関連を図ることができるように工夫されている。 ○ 音声、動画、ピクチャーカードなど豊富なコンテンツや教材が設定され、教科書紙面上の二次元コードを通して利用できるようになっている。 | | |

種目名 英語

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 61 啓林館 | 教科書の記号・番号 | 英語 061-72 061-82 061-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | BLUE SKY English Course 1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国や言語・文化の垣根を越えて、世界中の人々とのコミュニケーションと相互理解を深めていくことをめざし、「確かな英語力の育成」「生徒の興味関心と現代の諸課題への対応」「指導と評価の一体化を実現」「ICTの効果的な活用」の四つを基本方針として編集されている。 ○ 内容理解活動や発信活動は三つの Step を設定し、スモールステップで取り組めるようにされており、余裕をもって学習できる年間配当時数となっている。また、年間3回の Project では、4技能5領域を統合する活動が設定され、既習事項を用いたコミュニケーション活動に取り組めるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識及び技能 ○ 思考力、判断力、表現力等 ○ 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 紙面に新出語句や文法構造や文法を明示し、身に付ける学習内容が分かりやすいようになっている。また、細かいステップを踏み、バランスよく4技能の活動を設定することで、各技能を確実に習得できるように工夫されている。 ○ 理解した内容を整理して表現したり、場面や状況に応じて伝える内容や構成、表現を考えて伝えたりする活動を Express Yourself や Project に設定することで、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるように工夫されている。 ○ 各 Unit のとびらに学習の目標を明示し、単元末には目標に基づいた振り返りの機会を設け、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、今日の課題を自分のこととして捉え、考えを深めるような題材が多く採用されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の Word Box には活動に役立つ語彙や表現がジャンルごとに掲載されている。また、自律的に学習するための手助けとして「英語の学び方」では英語学習のポイントが紹介されている。 ○ 各学年とも大きな版型（A4判）が採用され、イラストや写真等を効果的に掲載することで、学習効果が上がるように配慮されている。 ○ 判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを用いたりするなどの配慮がされている。第1学年の英文には、多くの生徒にとって認識しやすいユニバーサルデザインフォントが用いられている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の Unit 5 までを小・中学校の接続期としており、小学校での学びを踏まえた学習目標が設定されている。高等学校での学習にも対応できる力を育成するため、学習の段階に応じて、聞く・読む量を段階的に増やして活動が設定されている。 ○ 理科、社会科、美術科などに関連する題材を採用し、各教科の知識と連携させることで、視野を広げ、より深い学びを実現できるように工夫されている。また、部活動、職場体験、修学旅行などの学校行事と関連する題材も取り上げられている。 ○ 二次元コードから、音声・動画を中心としたコンテンツにアクセスできる。動画の再生速度や字幕の切り替えが可能で、生徒が主体的に学習を進められるように配慮されている。 | | |

種目名 道徳

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 2 東書 | 教科書の記号・番号 | 道徳 002-72 002-82 002-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 新編 新しい道徳1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育基本法の理念を踏まえ、人格の形成の基盤となる道徳性を育むことをめざして、各学年 35 教材と、付録に 4 教材を配置することで、道徳科の「補充、深化、統合」の役割を果たせるように構成されている。また、本編教材、コラム、付録教材の三つで構成されており、コラムや付録教材を活用することで、本編教材の充実を図っている。 ○ 学校行事や生徒の生活実態に合わせ、教材の内容と学習時期を考慮して教材が配列されている。また、いじめ問題のユニット、生命尊重のユニット、情報モラル、自己肯定感を育む教材は、学習に適切な時期を考慮し、各学年同じ時期に配列されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成 ○ 生徒一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え（思考） ○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ねらいとする内容項目がぶれないよう、全教材冒頭に学習のテーマが設定されている。また、全教材に多様な意見を引き出せる発問「考えよう」、自己を見つめるための発問「見つめよう」が用意されている。 ○ 教材末に、人間としての生き方を深く考えるための手助けとなる補助発問「ぐっと深める」が用意されている。また、新聞の投書欄を教材にするなど、様々な人の意見を基に多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 ○ いじめ問題と生命尊重の教材をそれぞれユニット化し、一つのテーマを集中して扱うことで、道徳性を養えるように配慮されている。また、長年親しまれてきた様々な人たちの生き方を描いた教材が多く用意されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の第1教材の直後に「学習の流れ」を掲載し、授業開きで活用できるように工夫されている。また、巻末に切り取り式の自己評価用紙と心情円が用意され、自己評価や話し合い活動の際に活用できるように工夫されている。 ○ 視覚効果の高いワイドな AB 判が採用されている。また、軽量で丈夫な用紙により身体的負担を軽減し、化学物質を抑えた植物油インキの使用によりアレルギーに配慮されている。 ○ 教材や挿絵に登場する生徒や地域の人、家の人などの人数や役割などは、性別による偏りがないように配慮されている。また、色覚の特性の観点から、配色とデザインの検証を行っている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年間連携を意識して学習に取り組めるように 4 人の登場人物が、3 年間かけて友情を育んでいく物語を教材化している。キャリア教育に関するコラムが掲載され、将来について考えられるようにされている。また、付録に小学校の道徳科でよく扱われる教材が掲載されている。 ○ 各教材の冒頭に、関連する他教科の教科書紙面を二次元コードで確認できるようにされている。また、巻末の「教材一覧表」でも、関連する教科等が示されている。 ○ 二次元コードからアクセスできる情報活用サイトがあり、コンピュータの効果的な使い方を身に付けるとともに情報活用能力を育むことができるように設定されている。 | | |

種目名 道徳

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 17 教出 | 教科書の記号・番号 | 道徳 017-72 017-82 017-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学道徳1、2、3 とびだそう未来へ | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えたり話し合ったりする時間が十分に確保できるように、内容が把握しやすい短い教材や、写真や絵本、漫画など多様な教材を用意し、無理なく学べる適切な分量、内容で編集されている。また、本教材30と補充教材5の合計35教材で編成されており、様々な教材を活用した柔軟なカリキュラム編成ができるようにされている。 ○ 様々な学校行事や体験活動との関連を図りやすいように教材が配列されている。「いじめ等の人権課題」「持続可能な社会」「生命の尊さ」を特に深く考えたいテーマとして位置付け、複数の教材やコラムと組み合わせてユニットを組んでいる。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成 ○ 生徒一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え(思考) ○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次と各教材には、学習指導要領に示された4つの視点のどれに該当するかを色と絵柄で区別したアイコンで明示し、生徒が見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 生徒の生活実態を描いた教材、現代的な課題を扱った教材、人物を扱った教材など、様々な教材が掲載されており、道徳的価値の関連について、多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。「やってみよう」では、役割演技や動作化など、道徳的行為に関する体験的な学習が設定されている。 ○ 全ての教材に「導入」「学びの道しるべ」が設定されており、自分との関わりを基に自分自身を見つめ直すことができるように工夫されている。また、自己の学びを振り返ることができるように巻末に「道徳科の学びを記録しよう」が設定されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭では、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように授業の流れの例として「さあ、道徳を始めよう！」が示されている。また、巻末では、学期末・学年末に自分が成長したと思うことやこれからの目標を見付けられるように、「道徳科の学びを振り返ろう」のページが設けられている。 ○ 携帯しやすく扱いやすいように、B5判が採用されている。ページ数を抑え、用紙を軽量化し身体的な負担を軽減している。 ○ 学習上支援が必要な生徒にとっても紙面全体が読みやすく、分かりやすい紙面構成になっている。また、UDフォントの使用やユニバーサルカラーの採用などの配慮がされている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校から中学校、さらにその先の進路とのつながりを意識して、生徒の発達の段階に即した教材が系統的に配置されている。また、「友情、信頼」を扱った教材は、登場人物に共感しながら考えられる3部作とし、生徒の成長に寄り添う内容として配置されている。 ○ 他教科や特別活動などとの連携を図りやすくなるように、実施時期を考慮した教材配列となっている。 ○ 情報モラルと情報活用力を育む教材内容は、学年ごとに系統性を意識したテーマで設定されている。また、二次元コードから、様々なコンテンツにアクセスし、個別最適な学びを行えるように配慮している。 | | |

種目名 道徳

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 38 光村 | 教科書の記号・番号 | 道徳 038-72 038-82 038-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学道徳 1、2、3 きみが いちばん ひかるとき | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ よりよい未来の創造に向け変革を起こす力を育むために、「主体的な学び手を育てる」「自ら問いを持ち探究する」「人権に対する感性を育む」の三つを大切にして編集されている。「人権」について考えを深めるユニットを設け、生徒が人権に対する知識と考え方を学び、一人ひとりの感性を高められるように工夫されている。 ○ 学校生活の実態と生徒の成長を考慮し、年間を通して教材が複数の教材でまとめたユニットで構成されている。また、ユニットのテーマに沿って、教材を通じて学ぶ内容項目は、関わり合いながら学びがつながるように、配列が工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成 ○ 生徒一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え（思考） ○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自他の価値を認め合って学ぶことができるよう、教材の中に話し合い活動を位置付け、相手の意見を引き出す問い返しの言葉などが示されている。多様な考えに触れることによって、生徒が新たな価値観を築けるように、教材が工夫されている。 ○ 全ての教材に学習の手引き「考えよう」が設けられている。学習の手引きに示された問いは、自分に引き寄せて考えることができ、生徒自身の生き方についての考えを深め、多面的・多角的に考えられる内容となっている。 ○ 「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「人権」などの現代的な課題がユニットのテーマとして重点的に取り上げられており、生徒が自分自身に引き寄せながら興味・関心をもって学ぶことができる内容となっている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の折込「まなびの記録」に授業の振り返りを記録することで、学年末には1年間で学んだことが一覧できるようになっており、生徒自身、自分の変化や成長を自覚することができるように工夫されている。 ○ 生徒が手に持ちやすいようにB5変型判が採用されている。また行間にゆとりがあるデザインとなっている。巻末の付録は、学習意欲を喚起し道徳性が培われるような資料が掲載されている。 ○ 文字の書体、大きさや配置、写真や絵の色使いの他、枠組みを使ったデザイン処理など、ユニバーサルデザインの観点からの配慮がされている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 補充教材が2教材掲載されており、そのうちの1教材は、小学校道徳科の定番教材となっている。また3学年を通じて、同じ内容項目を扱う教材は、生徒の発達の段階や生活に合わせて、話題や分量、世界の広がりなどに配慮されており、学年に応じて傾斜をつけた内容となっている。 ○ 職場体験や合唱コンクールなど、多くの学校で行われている行事が想定される時期に、関連した道徳科の学習を行えるように、教材配列が配慮されている。 ○ 教材冒頭の二次元コードを読み込むと、教材の朗読を聞いたり、教材を補助する動画や資料などを視聴したりすることができ、一人ひとりの生徒の興味・関心に訴える内容となっている。 | | |

種目名 道徳

| | | | |
|-----------------|--|--|------------------|
| 発行者の番号・略称 | 116 日文 | 教科書の記号・番号 | 道徳 116-73 116-83 |
| | | | 116-93 116-74 |
| 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| 観点 | 書名 | 中学道徳 あすを生きる 1、2、3 中学道徳 あすを生きる 1、2、3 道徳ノート | |
| 1 編集の特徴 | ○ 編集の方針にみられる特徴 | ○ 「自信をもつこと」や「多様性」「ともに納得すること」を大切に、明日の自分の姿を前向きに描ける教材や、これからの社会の課題に対応した教材を取り上げている。また、学年ごとのテーマを設けて教材の選定をするなど、発達の段階に沿って自己肯定感が育まれるように工夫されている。 | |
| | ○ 組織・配列にみられる特徴 | ○ 見通しをもって主体的に学ぶことができるように、一単位時間の学習を3段階で示している。また、多様な視点から学べるようにテーマの一部を基に複数の教材とコラムを組み合わせ、ユニットを設定している。学校の年間行事や発達の段階を踏まえて教材を配列するとともに、3年間を見通した構成と配列になっている。 | |
| 2 学習指導要領との関連 | ○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成 | ○ 問題解決的な学習、体験的な学習に適した教材に「学びを深めよう」を設け、ともに考え合うことで納得解を得られるようにし、別冊ノートで自分の考えを記録し、成長を実感できるように工夫されている。 | |
| | ○ 生徒一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え(思考) ○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性 | ○ 先人や今を生きる人物の多様な生き方に触れ、様々な価値観や生き方に会える教材を取り入れている。また、生徒一人ひとりの生き方を応援するため、教材の登場人物からの「あすへのメッセージ」が掲載されている。 ○ 個々や社会の幸せをめざすウェルビーイングを念頭に、「自立と共生」「環境と未来」のテーマに沿ってユニット化し、他者への共感性を高め、多様性を認め合う社会の実現について自分のこととして考えて取り組んでいけるように工夫されている。 | |
| 3 使用上の便宜 | ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 | ○ 学習計画や見通しがもちやすいよう、教材が一覧できる目次になっている。巻頭には、1年間の学びの見通しをもつことができるような漫画形式の学びの概要と、これからの学びを体験できるようなミニ教材が掲載されている。 | |
| | ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | ○ 書く活動を通して思考をより深め、学習を振り返り、生徒自身が中学校3年間の成長を実感できるように、別冊ノートを付けている。本冊、別冊ともにB5判が採用されている。 ○ 教材や挿絵はジェンダーやSOGIESCを含めた多様性に留意して作成されている。UDフォントを使用し、ユニバーサルデザインの視点で配慮されている。 | |
| 4 その他 | ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 | ○ 教材は、生徒の発達の段階を考慮した内容とし、中学校3年間を見通した系統性に配慮されている。また、小・中・高等学校の連携にも配慮し、自己肯定感を育み、国家・社会の一員として社会参画の意識を育てることを重視した内容になっている。 | |
| | ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | ○ 教材で示される内容を他教科と関連付けながら、より多面的・多角的に考えることができるページとして、関係する教材の前後にコラムが配置されている。 ○ 全ての教材とコラムに、教科書と連携して活用できるデジタル教材やコンテンツ(フリーワークシート、心情メーター、シンキングツール)が準備され、学習効果をより高められるように配慮されている。 | |

種目名 道徳

| | | | | |
|-----------------|--|--|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 224 学研 | 教科書の記号・番号 | 道徳 224-72 224-82 224-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学生の道徳 明日への扉1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「考えを深める四つのステップ」が提示されており、学習の流れをイメージできるようにされている。また、「人をつなぐ」「課題をつなぐ」「未来につなぐ」の三つの『つなぐ』をキーワードに、多様性や SDGs など、現代的な課題について考えることで、生徒が主体性と広い視野をもって自らの未来を切り拓くために必要な資質・能力を育むことをめざして編集されている。 ○ 最重点テーマを「いのち」とし、内容項目「生命の尊さ」が全学年で3教材ずつ掲載されており、年間を通して生命の尊さや人権を重んじ、多様性を受け入れながら、他者と共によりよく生きることにについて考えられるように工夫されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成 ○ 生徒一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え（思考） ○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒自らの気付きや活発な思考を促すために、教材名の横に主題名を表示せず、巻末にまとめられている。生徒が主体的に課題を発見し、自分の考えがもてるとともに、多様な考えを聞きながら深めることができるように工夫されている。 ○ 教材の最後に「考えよう」のコーナーが設けられ、教材を基に、自分の生き方に向き合うきっかけとなる発問が示されている。生徒の問題意識を尊重し、自ら考え、議論する道徳が実現できるように、教材の構成や発問が工夫されている。 ○ 内容項目が異なる複数の教材を一つのテーマでつないだユニット教材が掲載されている。テーマを「SDGs」「多様性」「キャリア」とし、生徒が広い視野で社会を捉え、多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が現代的な課題に向き合い、自分事として考えることができるように「さまざまなテーマで学ぼう」を巻頭に設定している。巻末には「未来への扉」と「学びの記録」が掲載されており、1年間を振り返り、生徒が自分自身の学びを可視化できるように工夫されている。 ○ AB判の判型を使用し、写真やイラスト、図表などが見やすく、視覚的に大きな広がりを感じられるように配慮されている。 ○ UD フォントを使用し、カラーユニバーサルデザインを施すなど、読みやすさ、見やすさ、扱いやすさを考慮し、環境や安全に配慮されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ内容項目を扱う教材は、生徒の生活実態や発達の段階を考慮し、内容の深まりや視野の広がりなど、学年ごとに構成されている。また、生徒の発達の特徴を考慮して、学年が上がるにつれて学びが系統的につながるように配慮されている。 ○ 各学年に各教科等での道徳性の育成につながる教材が掲載され、関連を考慮しながら学びを深めていけるように工夫されている。 ○ 情報モラルについて、生徒の発達や成長に合わせ、課題について考えることができるような教材を掲載している。また、優れたデジタル市民になるために必要な能力を身に付ける「デジタル・シティズンシップ教育」につながるように配慮されている。 | | |

種目名 道徳

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 232 あか図 | 教科書の記号・番号 | 道徳 232-73 232-83 232-93 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 中学生の道徳 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 読み継がれてきた定番教材、感動教材、多様な現代的課題を扱う教材が精選され、授業のねらいを明確にした発問構成になっている。また、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、「いじめ問題」や「情報モラル」「キャリア」などの現代的課題についてユニット化するなど、継続して学びを広げ、深められる構造となっている。 ○ 「自主・自律」「思いやり・感謝」「生命の尊重」「よりよく生きる喜び」の4つを重点内容項目とし、全学年で3時間ずつ配当されている。特に、いじめを許さない等の心を育むため、関わりの深い内容項目の配当時間が多くなるように考慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成 ○ 生徒一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え(思考) ○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭に「道徳科の時間は、『自分を見つめ、考え、生きる』時間」を掲載し、オリエンテーションに役立つページを設けている。また、1学年に3か所「マイ・プラス」を設置し、多様な学習活動を行うことができるように工夫されている。 ○ 各教材の冒頭部分では、内容項目の視点のみを掲載することで主体的に教材と向き合ったり、ねらいに迫る発問を設定することで生徒一人ひとりが考えを深めたりすることができるように工夫されている。 ○ 各教材の「考えを深める」では問いが設定され、生徒が道徳的価値に照らして思考や対話を行うことができるようになっている。「自分との対話」では、教材での学びを踏まえて自分自身や道徳的価値について問い直すように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭には、道徳科の学習に主体的に取り組めるように、各学年の発達の段階に応じた「1 道徳 はじまりの時間」が提示され、1年間の学びの指針を示している。巻末に「学習の記録」を設定し、自分自身の授業の取組を振り返るように工夫されている。 ○ 軽量で運びやすいB5判の判型を使用し、重さにも配慮されている。用紙は再生紙を用い、印刷には植物油インクを使用するなど環境に配慮されている。 ○ 多くの生徒にとって学びやすい教科書となるよう、マークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮し、文字はUDフォントを使用するなどして対応している。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭では、「生命の大切さ」や「キャリア」など、生徒に考えさせたいテーマを教材一覧として分かりやすく示しており、3年間を通して、複数の教材から多面的・多角的に学ぶことができるように工夫されている。 ○ 巻末にある内容一覧表に、他教科等との関わりを示すことで関連を図りやすくしている。また、SDGsの視点や様々な地域の事例を通して生徒の視野を広げ学ぶことができるようにしている。 ○ 情報モラルについて、様々な視点から考える教材をユニット化している。また、二次元コードから、教材に関する補助資料として写真や動画、参考となる外部ページを見ることができるよう設定されている。 | | |

種目名 道徳

| | | | | |
|-----------------|--|---|-----------|----------------------------|
| 観点 | 発行者の番号・略称 | 233 日科 | 教科書の記号・番号 | 道徳 233-72 233-82 233-92 |
| | 使用学年 | 1 ~ 3 | | |
| | 書名 | 道徳 中学校 1、2、3 | | |
| 1 編集の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 編集の方針にみられる特徴 ○ 組織・配列にみられる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の生活を取り巻く福祉・医療・自然など幅広い内容の題材が取り上げられている。また「いじめ」に直接向き合う問題と「いじめ」につながりかねない日常の在り方に注目する間接的な問題の2種類の題材が全学年に取り上げられている。さらに「ダイバーシティ」など現代的な課題に向き合う内容も教材として編集されている。 ○ 1年次「自己理解」2年次「自己啓発」3年次「自己実現」をテーマにした教材が採用されている。学校生活を舞台にした友情や、異性への関心を描く「リョウとマキ」シリーズが、3年間を通して掲載されており、発達の段階が考慮されている。 | | |
| 2 学習指導要領との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成 ○ 生徒一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え（思考） ○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材のタイトルには、学習指導要領に示された視点及び内容項目のどれに該当するか、色と絵柄で区別したマークが付けられており、道徳的価値が理解しやすいように配慮されている。 ○ 教材には考えを深めるための発問が記載されており、自分の考えを深めたり、他の生徒の考えを聞いたりすることにより、物事を多面的・多角的に捉えることができるように工夫されている。また、各教材の発問「深めよう」において、生徒が自らのこれからの在り方を考えるように工夫されている。 ○ 道徳教育とウェルビーイングを結び付けるとともに、「ウェルビーイング（その人らしく生き生きと生きる在り方）カード」を授業で活用することで、生徒一人ひとりが「よりよい自分」を探究することができるように工夫されている。 | | |
| 3 使用上の便宜 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴 ○ 判型・分冊などにみられる特徴 ○ 多様性への対応や配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次は、視点別内容項目順の他に、「いじめ・人権」「キャリア形成」などのテーマ別目次も設けられている。全学年の巻末付録として「私たちの郷土」が掲載されており、郷土の文化などを取り上げた学習ができるようになっている。 ○ AB判が採用されており、縦書き、横書きともに、読みやすくなるように工夫されている。 ○ カラーユニバーサルデザインの観点から、全ページにわたり配色とデザインに配慮が施されている。また、教材文には主に、UDフォントを用い、文字が見やすく、読みやすいように工夫されている。 | | |
| 4 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴 ○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴 ○ デジタル化・情報化等に関する特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年「クラスのみならず『道徳授業』を創り出そう」というガイダンスページが設けられており、前学年の振り返りと、今後1年間めざす目標や課題について考えることができるように工夫されている。 ○ 社会的・文化的に業績を残した人物の直面した葛藤などが取り上げられており、多面的な視点で道徳的価値に迫ることができるように教材が選定されている。 ○ 二次元コードから、写真や年表、取り上げられた人物のプロフィールなどの情報を見ることができるよう工夫されている。全学年に漫画教材が取り入れられており、生徒が考えるための課題が分かりやすく示されている。 | | |